

取扱説明書

FlexView®

FlexView® 155

FlexView® 125

アーム式液晶マルチモニター

重要

ご使用前には必ず取扱説明書をよくお読みになり、正しくお使いください。
この取扱説明書は大切に保管してください。



絵表示について

本書では以下のような絵表示を使用しています。内容をよく理解してから本文をお読みください。



警告


この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性がある内容を示しています。




注意

この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性がある内容、および物的損害のみ発生する可能性がある内容を示しています。




注意（警告を含む）を促すものです。たとえば  は「感電注意」を示しています。



禁止の行為を示すものです。たとえば  は「分解禁止」を示しています。



行為を強制したり指示するものです。たとえば  は「アース線を接続すること」を示しています。

本製品は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラス B 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。本書に従って正しい取扱いをしてください。また、製品の付属品（ケーブル含む）や当社が指定するオプション品を使用しない場合、基準に適合できない恐れがあります。

本製品は、社団法人 電子情報技術産業協会の定めたパーソナルコンピュータの瞬時電圧低下対策規格を満足しております。しかし、規格の基準を上回る瞬時電圧低下に対しては、不都合が生じることがあります。

- 本製品は BBE Sound, Inc. からの実施権に基づき製造されています。
- 本製品は BBE Sound, Inc. の所有する米国特許第 5510752 号および第 5736897 号を使用しています。

BBE®

営利目的、または公衆に視聴されることを目的として、画面の大きさを変える（例えば、送信されてくる映像の縦横比を変える）などの特殊機能を使用すると、著作権法で保護される著作権を侵害する恐れがあります。

本製品は、米国特許第 5315448 号および第 6836549 号を含む米国特許、およびその他の知的財産権によって保護される著作権保護技術を採用しています。この著作権保護技術の使用にはマクロヴィジョン社の許諾が必要です。本製品の分解や改造は固く禁じられています。

Copyright© 2007-2009 株式会社ナナオ All rights reserved.

1. 本書の著作権は株式会社ナナオに帰属します。本書の一部あるいは全部を株式会社ナナオからの事前の許諾を得ることなく転載することは固くお断りします。
2. 本書の内容について、将来予告なしに変更することがあります。
3. 本書の内容については、万全を期して作成しましたが、万一誤り、記載もれなどお気づきの点がありましたら、ご連絡ください。
4. 本機の使用を理由とする損害、逸失利益等の請求につきましては、上記にかかわらず、いかなる責任も負いかねますので、あらかじめご了承ください。
5. 乱丁本、落丁本の場合はお取り替えいたします。販売店までご連絡ください。

BBE および BBE のシンボルは、BBE Sound, Inc. の登録商標です。
EIZO、FlexView は株式会社ナナオの登録商標です。
その他の各会社名、各製品名は、各社の商標または登録商標です。

もくじ



使用上の注意.....	4
第1章 はじめに	10
1-1. 特長	10
1-2. 付属品の確認	11
1-3. 各部の名称.....	12
第2章 準備.....	15
2-1. 接続手順	15
2-2. 地上アナログ放送の設定	21
2-3. 地上デジタル放送の設定	23
2-4. タッチパネルの設定.....	25
第3章 調整・設定.....	26
3-1. メニューについて	26
3-2. 「メニュー」画面を使って.....	26
3-3. 「設定」画面を使って	29
第4章 ロックモードで使用する.....	39
第5章 故障かなと思ったら	40
第6章 お手入れ	43
第7章 仕様.....	44
第8章 用語集	53
第9章 付録.....	54
アフターサービス	58

⚠ 使用上の注意

重要

- 本製品は、日本国内専用品です。日本国外での使用に関して、当社は一切責任を負いかねます。

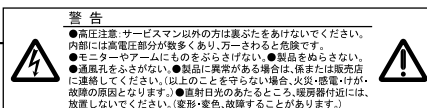
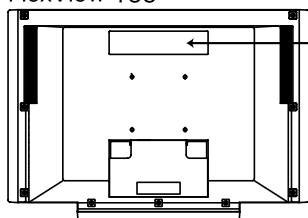
This product is designed for use in Japan only and cannot be used in any other countries.

- ご使用前には、「使用上の注意」および本体の「警告表示」をよく読み、必ずお守りください。

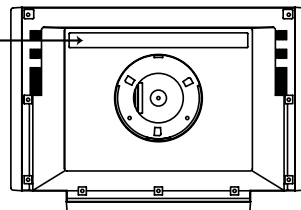
【警告表示位置】

＜モニターユニット背面＞

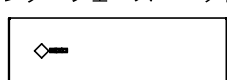
FlexView 155



FlexView 125

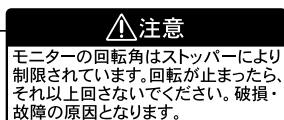
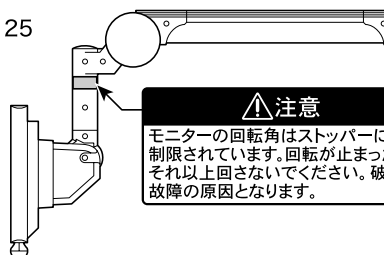


＜インターフェースユニット底面＞



＜アーム＞

FlexView 125



⚠ 警告

万一、異常現象（煙、異音、においなど）が発生した場合は、すぐに電源スイッチを切り、電源プラグを抜いて販売店またはエイゾーサポートに連絡する

そのまま使用すると火災や感電、故障の原因となります。



裏ぶたを開けない、製品を改造しない

本製品内部には、高電圧や高温になる部分があり、感電、やけどの原因となります。また、改造は火災、感電の原因となります。



警告

故障状態で使用しない

画面が映らない、音が出ないなどの故障状態で使用しないでください。火災や感電の原因となります。電源を切り、電源プラグを抜いて、修理をエイゾーサポートまで依頼してください。



修理は販売店またはエイゾーサポートに依頼する

お客様による修理は火災や感電、故障の原因となりますので、絶対におやめください。



異物を入れない、液体の入ったもの（花瓶など）や濡れたものを置かない

本製品内部に金属、燃えやすい物や液体が入ると、火災や感電、故障の原因となります。万一、本製品内部に液体をこぼしたり、異物を落とした場合には、すぐに電源プラグを抜き、販売店またはエイゾーサポートにご連絡ください。



丈夫で安定した場所に置く、床頭台の場合は、取付用器具およびモニターなどの重量に、十分耐え得る床頭台に設置する

不安定な場所に置くと、モニターや床頭台が、落下、転倒することがあり、けがや故障の原因となります。万一、落とした場合は電源プラグを抜いて、販売店またはエイゾーサポートにご連絡ください。そのまま使用すると火災、感電の原因となります。



次のような場所には置かない

火災や感電、故障の原因となります。

- 屋外。車両・船舶などへの搭載
- 湿気やほこりの多い場所
- 水滴のかかる場所（浴室、水場など）
- 油煙や湯気が直接当たる場所や熱器具、加湿器の近く
- 可燃性ガスのある環境



プラスチック袋は子供の手の届かない場所に保管する

包装用のプラスチック袋をかぶったりすると窒息の原因となります。



電源コードを 100VAC 電源に接続して使用する

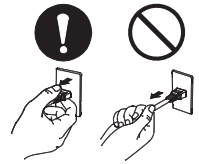
電源コードは日本国内 100VAC 専用品です。
誤った接続をすると火災や感電の原因となります。



警告

電源コードを抜くときは、プラグ部分を持つ

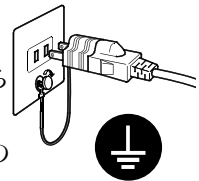
コード部分を引っ張るとコードが傷つき、火災、感電の原因となります。



電源コンセントが二芯の場合、付属の二芯アダプタを使用し、安全（感電防止）および電磁界輻射低減のため、アースリード（緑）を必ず接地する

なお、アースリードは電源プラグをつなぐ前に接続し、電源プラグを抜いてから外してください。順序を守らないと感電の原因となります。

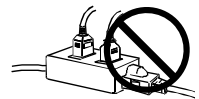
二芯アダプタのアースリード、および三芯プラグのアースが、コンセントの他の電極に接触しないようにしてください。



次のような誤った電源接続をしない

誤った接続は火災、感電、故障の原因となります。

- 取扱説明書で指定された電源電圧以外への接続。
- タコ足配線。



電源コードを傷つけない

電源コードに重いものをのせる、引っ張る、束ねて結ぶ、加工する、過熱するなどをしないでください。電源コードが破損（芯線の露出、断線など）し、火災や感電の原因となります。



雷が鳴り出したら、本機や電源プラグ/コード、アンテナ線には触れない

感電の原因となります。



アーム（オプションを含む）、取付用器具を使用する場合は、それらの取扱説明書の指示に従い、本機に付属のネジを使用し、確実に設置する

確実に設置されていないと、外れたり、倒れたりしてけがや故障の原因となります。万一、落とした場合は電源プラグを抜いて、販売店またはエイゾーサポートにご連絡ください。そのまま使用すると火災、感電の原因となります。また、取り外したアームを再度取り付ける場合には必ず元のネジを使用し、確実に固定してください。



床頭台など、取付用台を移動する場合は、アームを収納して移動する

アームを引き延ばした状態で移動すると、アームが周囲にぶつかったり、不安定なため、倒れたりしてけがや故障の原因となります。



定期的にアームの固定部を確認する

定期的にアームの固定部やバランスに異常がないか確認してください。固定部がゆるんだりしていると、アームが倒れてけがの原因となります。



警告

モニターやアームを動かすときは注意する

- アームに手を挟まないように注意する
- 周囲にぶつからないように注意する



モニターやアームにもものをぶらさげない

モニターやアームにもものを取り付けたり、ぶら下げたりしないでください。倒れたり、外れたりして事故やけがの原因となります。



アーム内に引き込まれたケーブルを引っ張らない

ケーブルが断線したり、破損して火災、感電の原因となります。



液晶パネルが破損した場合、破損部分に直接素手で触れない

もし触れてしまった場合には、手をよく洗ってください。

万一、漏れ出た液晶が、誤って口や目に入った場合には、すぐに口や目をよく洗い、医師の診断を受けてください。そのまま放置した場合、中毒を起こす恐れがあります。



ごみ廃棄場で処分されるごみの中に本製品を捨てない

本製品に使用の蛍光管（バックライト）の中には水銀が含まれているため、廃棄は地方自治体の規則に従ってください。



注意

運搬のときは、接続コードやオプション品を外す

コードを引っ掛けたり、移動中にオプション品が外れたりして、けがの原因となります。



通風孔をふさがない

- 通風孔の上や周囲にもものを置かない。
- 風通しの悪い、狭いところに置かない。
- 横倒しや逆さにして使わない。
- 周囲の壁から 10cm 以上の間隔をあけて設置する。



通風孔をふさぐと、内部が高温になり、火災や感電、故障の原因となります。

コード類の配線に注意する

人の往来などの妨げにならないように配線してください。コードに手足を引っ掛けたりして、けがの原因となることがあります。



注意

無理にモニターを回転させない (FlexView 125 のみ)

モニターの回転角はストッパーにより制限されています。回転が止まったら、それ以上回さないでください。破損、故障の原因となります。

モニターの回転角については、P.16 を参照してください。



濡れた手で電源プラグに触れない

感電の原因となります。



電源プラグの周囲にものを置かない/製品は電源コンセントの近くに設置する

火災や感電防止のため、異常が起きた時すぐ電源プラグを抜けるようにしておいてください。



電源プラグ周辺は定期的に掃除する

ほこり、水、油などが付着すると火災の原因となります。



イヤホン/ヘッドホンを使用するときは音量を上げすぎない

聴力に悪い影響を与える原因となります。



クリーニングの際は電源プラグを抜く

プラグを差したままでおこなうと、感電の原因となります。



長時間使用しない場合には、安全および省エネルギーのため、本体の電源スイッチを切った後、電源プラグも抜く



液晶パネルについて

経年使用による輝度変化を抑え、安定した輝度を保つためには、明るさを下げて使用されることをおすすめします。

液晶パネルは、非常に精密度の高い技術で作られていますが、画素欠けや常時点灯する画素が見える場合がありますので、あらかじめご了承ください。また、有効ドット数の割合は 99.99% 以上です。

液晶パネルに使用される蛍光管（バックライト）には寿命があります。画面が暗くなったり、ちらついたり、点灯しなくなったときには、販売店またはエイゾーサポートにお問い合わせください。

パネル面を固いものや先の尖ったもの（ペン先、ピンセット）などで押したり、こすったりしないようにしてください。傷がつく恐れがあります。なお、ティッシュペーパーなどで強くこすっても傷が入りますのでご注意ください。

同じ画像を長時間表示することによって、表示を変えたときに前の画像が残像として見えることがあります。長時間同じ画像を表示するようときには、[省電力設定]機能の活用をおすすめします。

本製品を冷え切った状態のまま室内に持ち込んだり、急に室温を上げたりすると、製品の表面や内部に露が生じることがあります（結露）。結露が生じた場合は、結露がなくなるまで製品の電源を入れずにお待ちください。そのまま使用すると故障の原因となることがあります。

モニターを快適にご使用いただくために

画面が暗すぎたり、明るすぎたりすると目に悪影響をおよぼすことがあります。状況に応じてモニター画面の明るさを調整してください。

長時間モニター画面を見続けると目が疲れますので、1 時間に 10 分程度の休憩を取ってください。

第 1 章 はじめに

このたびは当社地上デジタル放送対応アーム式液晶マルチモニターをお買い求めいただき、誠にありがとうございます。

1-1. 特長

- 地上デジタルチューナー搭載により、地上デジタル放送に対応
- 15 型 (FlexView 155)、12.1 型 (FlexView 125) 高輝度 TFT 液晶採用による大型で明るい画面表示
- 周囲の照度変化に対応した自動調光
- 地上アナログ放送 1～62CH とケーブルテレビ (CATV) 放送 C13～C38CH から、18 チャンネル分までのプリセットが可能 (ケーブルテレビを利用する場合は、ケーブルテレビ事業者との契約が必要です。)
- 地域コードの設定によりアナログ放送のチャンネルを自動で設定可能
- コンピュータ接続が可能
水平周波数：アナログ信号入力時 31～50kHz
垂直周波数：アナログ信号入力時 55～75Hz (1024x768 は 60Hz)
- シリアルポート (RS-232C) によりコンピュータなど外部機器からの制御が可能
- USB ケーブル接続によるリモコンのマウス機能を実現
- 調整・設定した状態を変更しないよう機能を制限できるモード (ロックモード) への切り換えが可能
- 抗菌樹脂リモコン、設置のしやすさを考慮したフック採用
- BBE High Definition Sound (ハイデフィニションサウンド) を採用
人の声や楽音を原音に極めて近いリアルな音で再現します。(FlexView 155 のみ)

1-2. 付属品の確認

以下のものがすべて入っているか確認してください。万一、不足しているものや破損しているものがある場合は、販売店またはエイゾーサポートにご連絡ください。

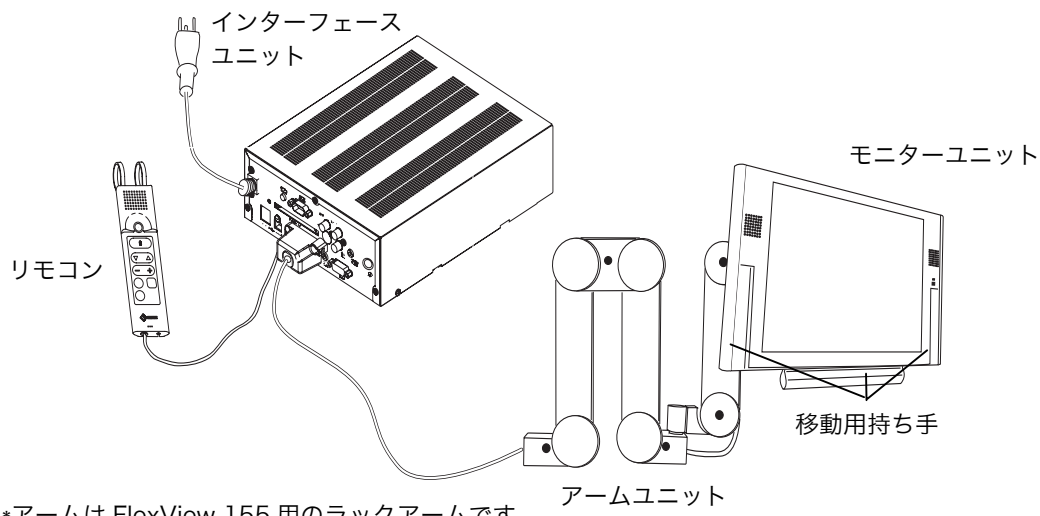
- インターフェースユニット取付用金具 4 個
- B-CAS カード
- B-CAS カバー
- B-CAS カバー取付用ネジ (M3×10mm) 1 個
- ネジキャップ 1 個
- リモコン^{*1}
- 取扱説明書 (保証書付き)
- お客様相談窓口のご案内

^{*1} リモコンは必ず付属品を使用してください。

【タッチパネル装着モニターの場合】

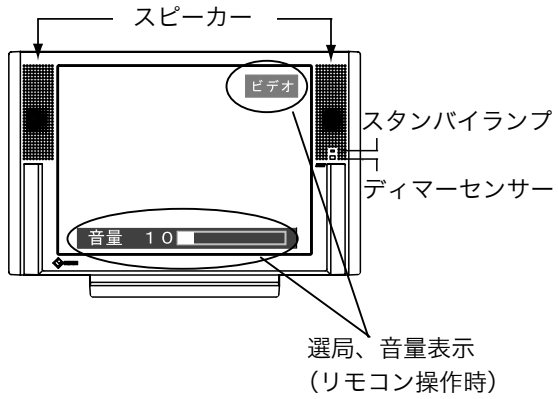
- ドライバ CD-ROM (タッチパネル取扱説明書付き)

1-3. 各部の名称

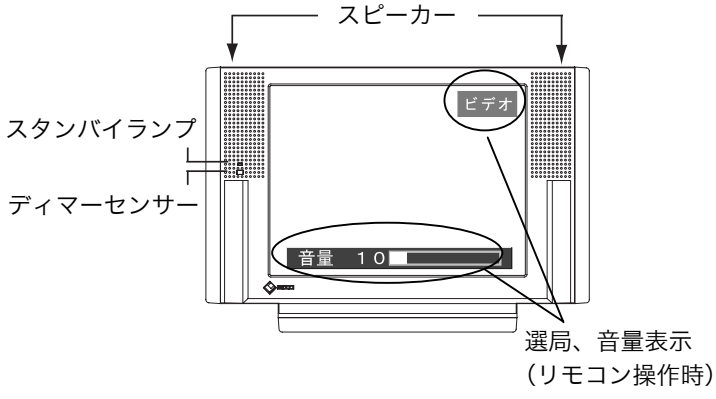


*アームは FlexView 155 用のラックアームです。

モニターユニット (FlexView 155)



モニターユニット (FlexView 125)



● スタンバイランプ

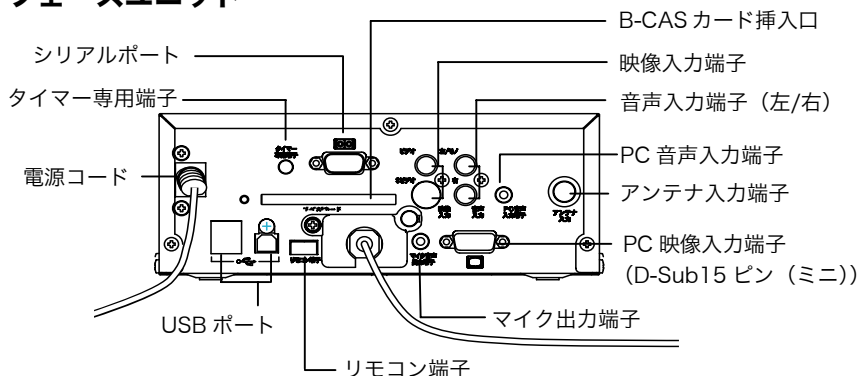
赤	スタンバイ	消灯	TV、ビデオ、コンピュータ表示時
---	-------	----	------------------

● ディマーセンサー

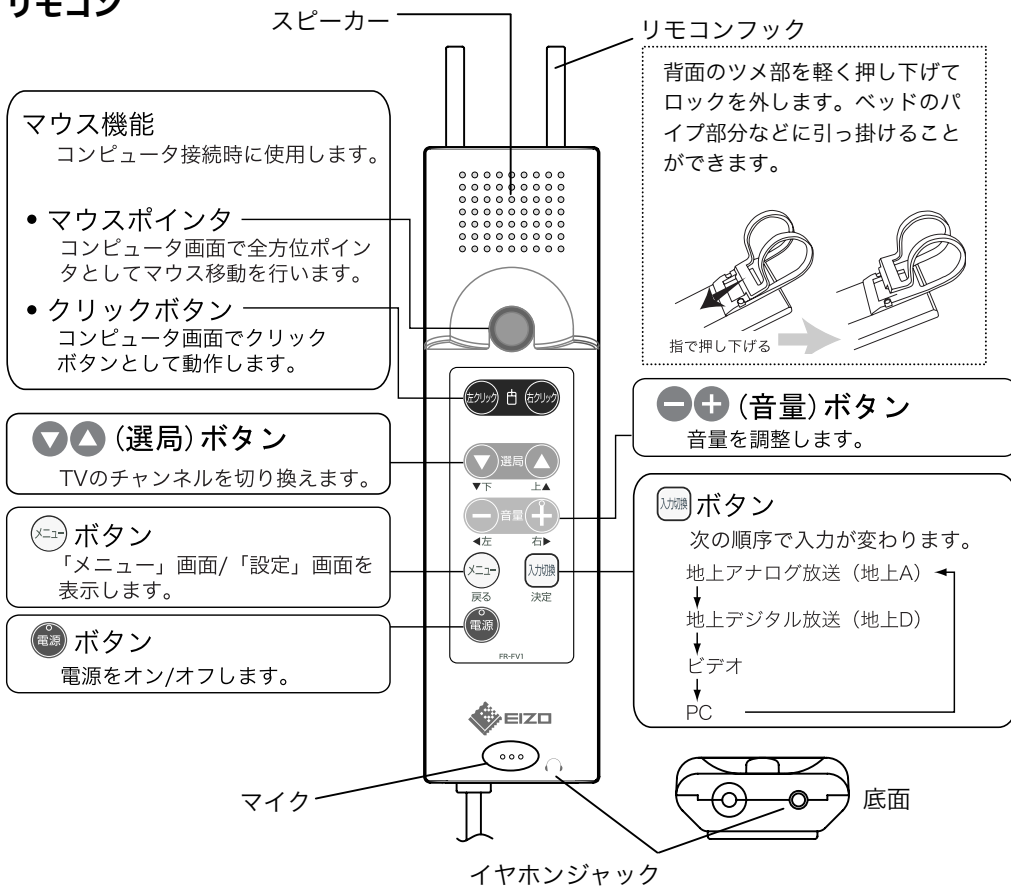
ディマーセンサーが周囲の照度変化に応じて画面の明るさを自動的に調整します。
ディマーセンサーを使用しない場合は P.33 を参照して、[明るさ自動調整] の設定を「オフ」にしてください。

インターフェースユニット

背面



リモコン

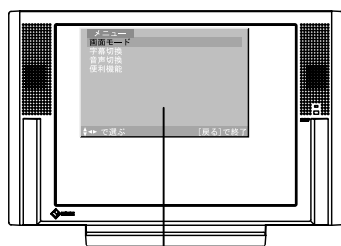


注意点

- マウス機能を使用するときは、本機とコンピュータを USB ケーブルで接続する必要があります。 (P.19 参照)

参考 リモコンの調整・設定ボタン機能

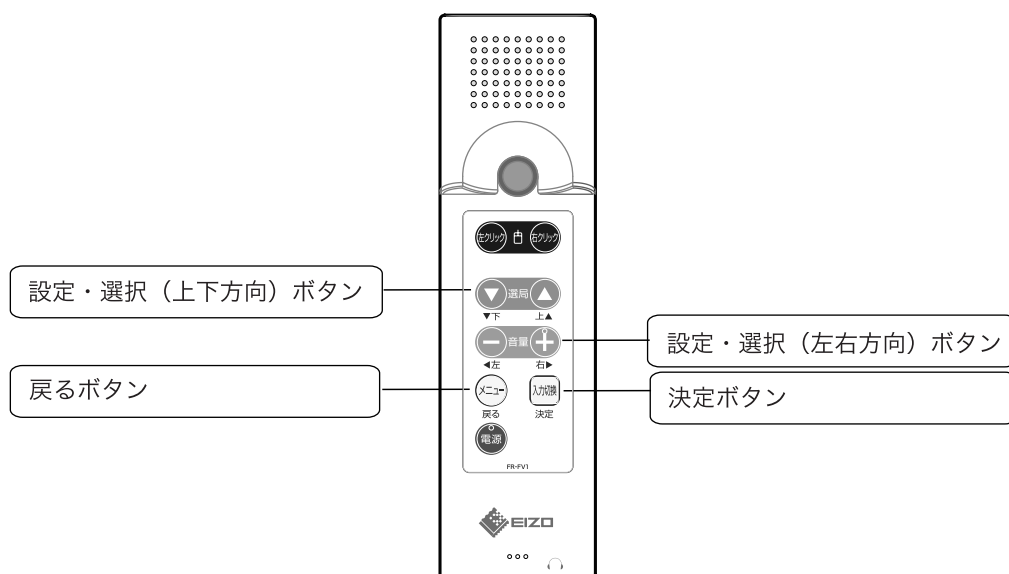
メニューを押すと、モニターに「メニュー」画面/「設定」画面（OSD（オンスクリーンディスプレイ））が表示され、リモコンのボタンは調整・設定ボタンに切り換わります。



メニューを押す
→ 「メニュー」画面（P.26 参照）

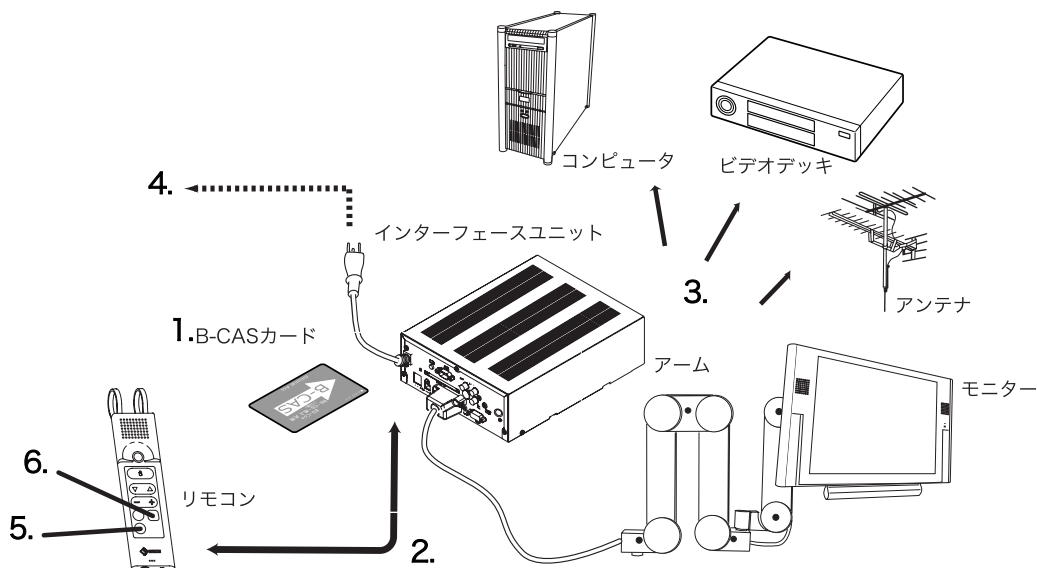


メニューを 3 秒以上続けて押す
→ 「設定」画面（P.29 参照）



第 2 章 準備

2-1. 接続手順



*アームは FlexView 155 用のラックアームです。

注意点

- 接続の際は、ケーブルを各コネクタにしっかりと差し込んでください。ケーブルは挟み込みがないように引き回してください。
- TV 放送を受信する場合は、市販のアンテナ線を準備してください。

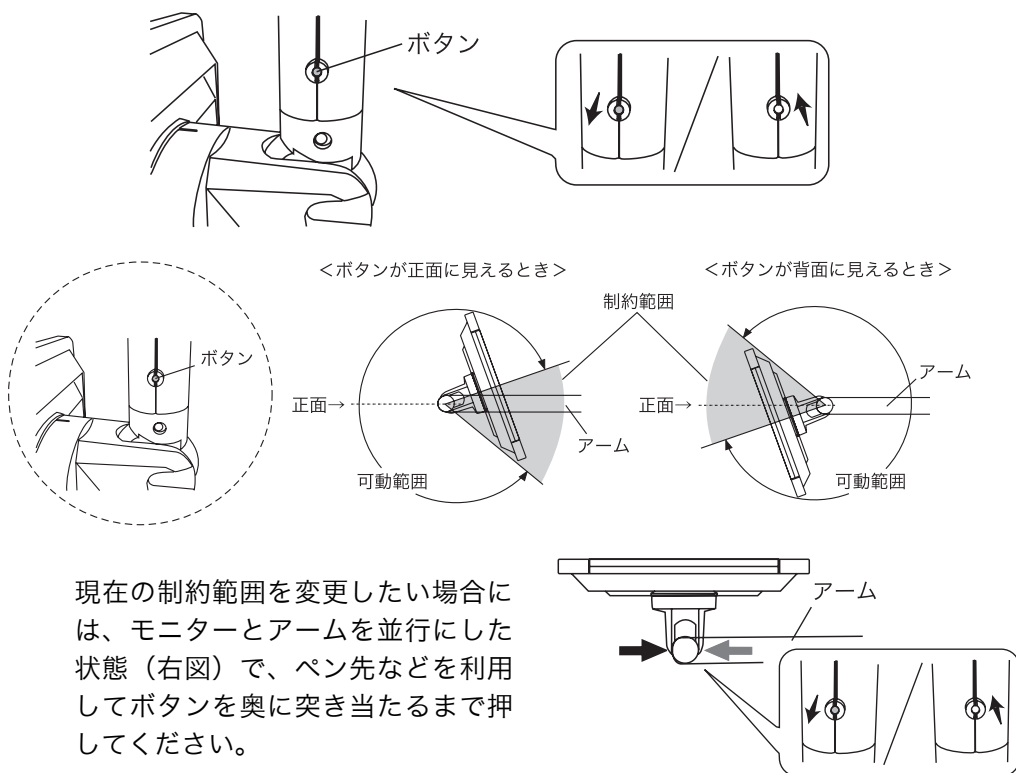
参考 地上デジタル放送を受信するには

地上デジタル放送は、UHF アンテナを使って受信します。現在使用しているアンテナやお住まいの地域に応じて、次のように設置してください。

- VHF アンテナのみ設置されている場合
地上デジタル放送に対応した UHF アンテナの設置が必要です。
- UHF アンテナが設置されている場合
そのまま地上デジタル放送を受信できる場合がありますが、次のような場合は、アンテナの調整や新たに地上デジタル放送に対応したアンテナの設置が必要です。
 - 地上デジタル放送のチャンネルと合わない場合
 - 地上アナログ放送と地上デジタル放送の電波の来る方向が違う場合

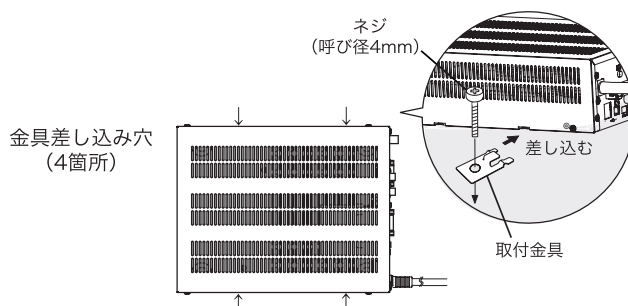
参考 モニターの回転角について (FlexView 125 のみ)

- モニターは接続した信号ケーブルのねじれを防ぐため、回転角に制約（約 60 度の使用できない範囲）を設けています。制約範囲はアームにあるボタンの位置によって決まります（下図参照ください）。本機を使用する場所に応じてボタンの位置を変更してください。



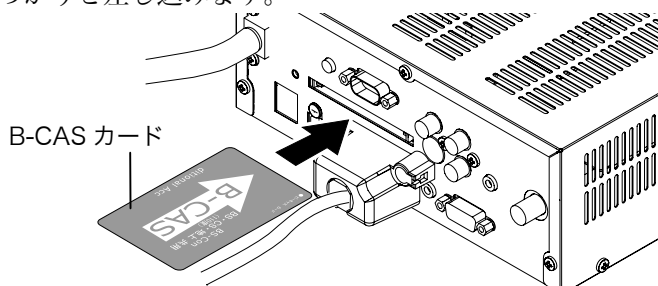
参考 インターフェースユニットを固定する場合

- 付属のインターフェースユニット取付用金具と、別途取り付ける側の仕様に合わせて市販のネジ（呼び径 4mm）を用意してください。取り付け側はしっかりと固定できる場所を選んでください。
- 取付用金具をインターフェースユニットの穴（4箇所）に差し込み、ネジで固定します。



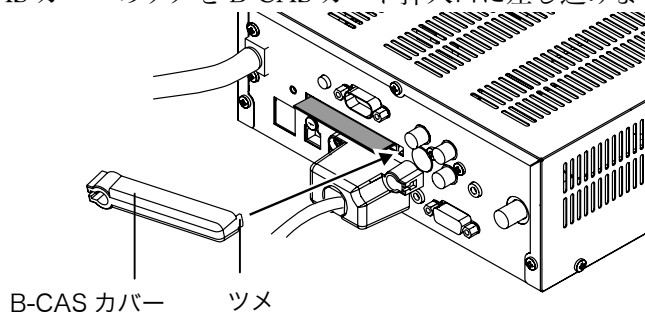
1. B-CAS カードを装着します。(別途ドライバーを準備ください。)

- (1) インターフェースユニットの B-CAS カード挿入口に、B-CAS カードを奥までしっかりと差し込みます。

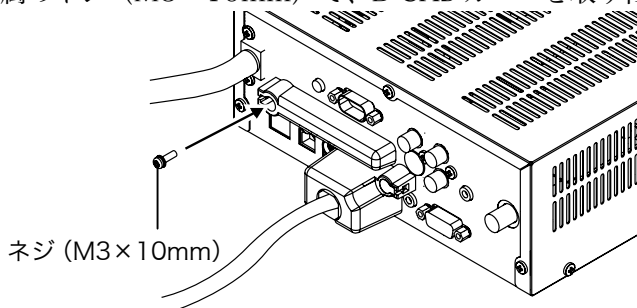


- (2) B-CAS カバーを取り付けます。

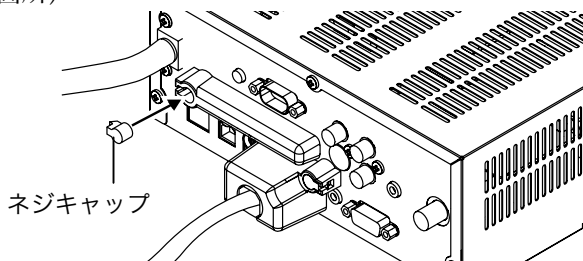
- ①B-CAS カバーのツメを B-CAS カード挿入口に差し込みます。



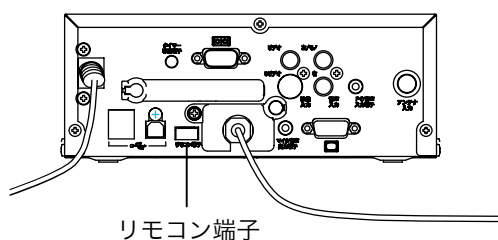
- ②付属のネジ (M3×10mm) で、B-CAS カバーを取り付けます。(1箇所)



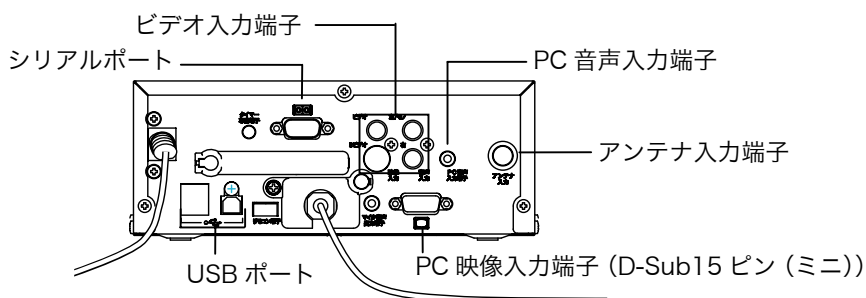
- ③付属のネジキャップを、手順②で取り付けた B-CAS カバーにはめ込みます。(1箇所)



2. リモコンをインターフェースユニットの「リモコン端子」に接続します。



3. 外部機器をインターフェースユニットに接続します。



地上アナログ/地上デジタル放送用のアンテナを接続する

- (1) 市販のアンテナ線を「アンテナ入力端子」に接続します。

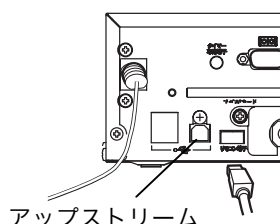
ビデオ機器を接続する

- (1) ビデオ機器の映像ケーブルを「映像入力端子」(S ビデオまたはビデオ) に接続します。
- (2) ビデオ機器の音声ケーブルを「音声入力端子」に接続します。

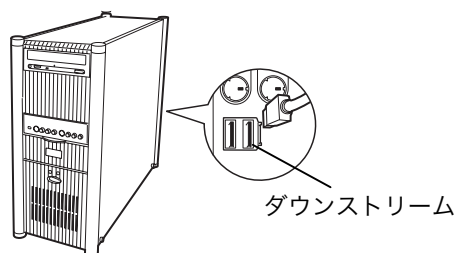
コンピュータを接続する

- (1) コンピュータの信号ケーブルを「PC 映像入力端子」(D-Sub15 ピン (ミニ)) に接続します。
- (2) コンピュータの音声ケーブルを「PC 音声入力端子」に接続します。
- (3) リモコンをマウスとして利用する場合は、コンピュータの USB ダウンストリームポートとインターフェースユニットの USB アップストリームポートを市販の USB ケーブルで接続します。

＜インターフェースユニット側＞



＜コンピュータ側＞



注意点

- コンピュータ接続の際は、当社オプションケーブル「VI200」または「V55」をご使用ください。
- コンピュータを使用する場合の詳細設定は P.33 を参照してください。

4. インターフェースユニットの電源コードを電源コンセントに接続します。モニターのスタンバイランプが点灯 (赤色) し、スタンバイ状態となります。

⚠ 警告

付属の電源コードを 100VAC 電源に接続して使用する

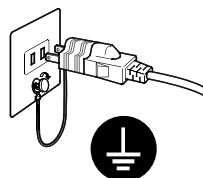
付属の電源コードは日本国内 100VAC 専用品です。

誤った接続をすると火災や感電の原因となります。



電源コンセントが二芯の場合、付属の二芯アダプタを使用し、安全 (感電防止) および電磁界輻射低減のため、アースリード (緑) を必ず接地する

なお、アースリードは電源プラグをつなぐ前に接続し、電源プラグを抜いてから外してください。順序を守らないと感電の原因となります。二芯アダプタのアースリード、および三芯プラグのアースが、コンセントの他の電極に接触しないようにしてください。

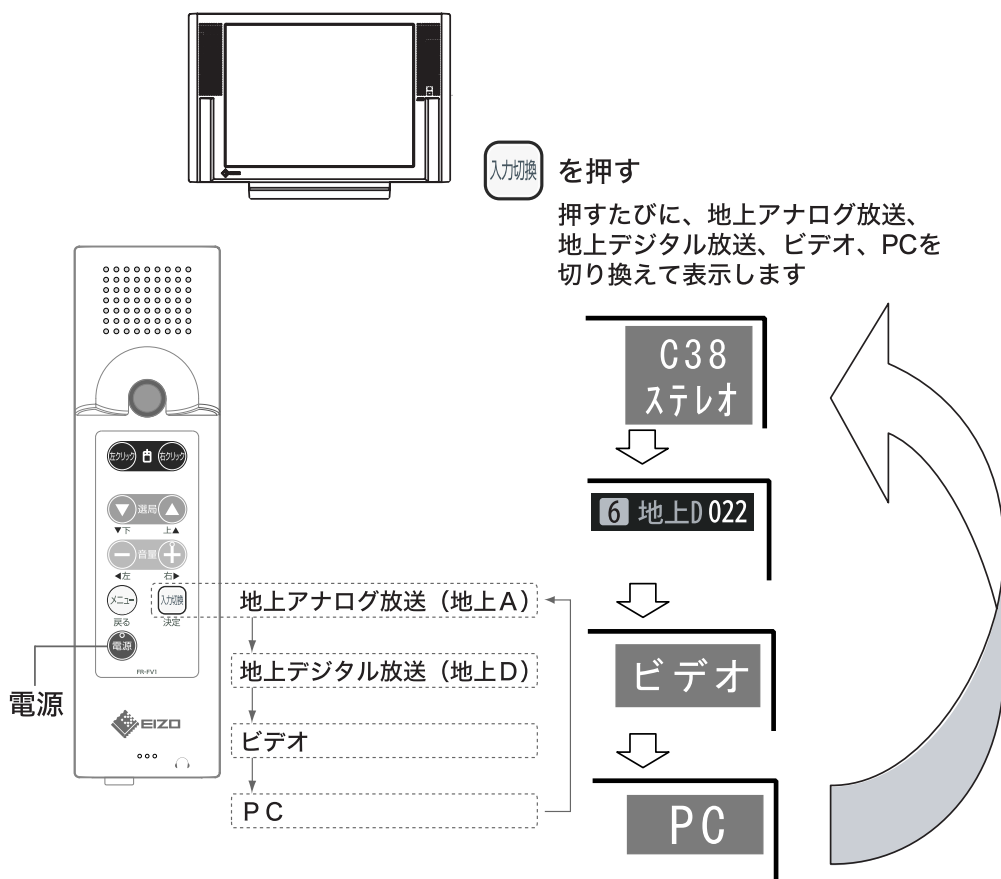


以上で接続は終了です。

5. リモコンの^{電源}を押して電源を入れます。

6. リモコンの^{入力切換}を押して、入力ソース（地上アナログ放送、地上デジタル放送、ビデオまたはPC）を選択します。

スタンバイランプが消灯し、画面が表示されます。



TVをご使用の場合はチャンネル設定などを行ってください。

⇒地上アナログ放送「P.21」参照

⇒地上デジタル放送「P.23」参照

コンピュータをご使用の場合は画面調整などを行ってください。

⇒「P.33」参照

使用後は、リモコンの^{電源}で、電源を切ってください。


2-2. 地上アナログ放送の設定


地上アナログ放送を見るための設定をします。

次の手順でチャンネルをお使いの地域の放送に合わせます。

地域コードによる設定

地域コード（各地域ごとに割り当てられた番号）を設定することにより、地上アナログ放送のチャンネルを自動で設定することができます。

1.  でアナログ放送に切り換えます。

2.  を 3 秒以上続けて押し、「設定」画面を表示します。

3. 地域コードを設定します。

- (1) ◀左 右▶で、＜本体設定＞を選択します。
- (2) ▼下 上▲で、[地上アナログチャンネル設定] を選択し、決定を押します。

- (3) ▼下 上▲で、[地域コード入力] を選択し、決定を押します。

- (4) 地域コード一覧 (P.54 参照) から、設定する地域のコードを入力します。

◀左 右▶で位置を移動、▼下 上▲で数字を選択します。

- (5) 決定を押します。

入力した地域コードに応じたチャンネルが自動で設定されます。

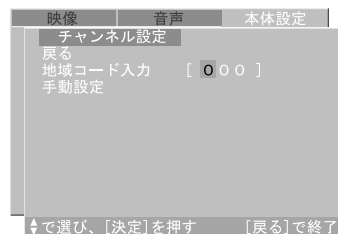
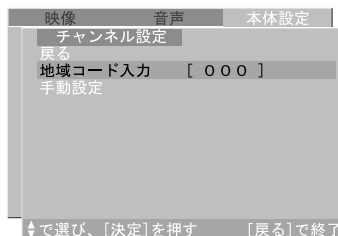
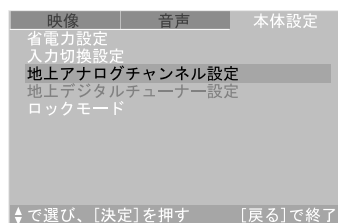
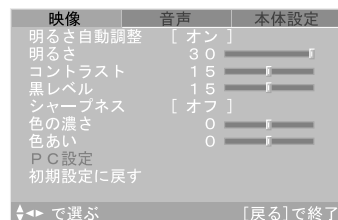
設定が終了すると、「地域コードを設定しました」とメッセージが表示されます。

注意点

- 本機の設定によって、[地上アナログチャンネル設定] が利用できない場合があります。

参考

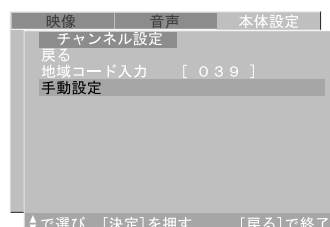
- [地域コード入力] で設定されたチャンネルを手動で修正することもできます。次ページをご覧ください。



手動設定

地域コードにより自動で設定されたチャンネル設定を手動で修正できます。
(手動設定は＜本体設定＞設定タブの[地上アナログチャンネル設定]から行います。)

- (1) ▼下 ▲上 で [手動設定] を選択し、決定を押します。



- (2) ▼下 ▲上 で修正したいチャンネルを選択し、決定を押します。



- (3) ◀左 ▶右 で設定項目を選択します。
設定項目については、下表をご覧ください。



- (4) ▼下 ▲上 で設定値を変更します。

- (5) すべての項目の設定が終わったら、決定を押します。

選択部分が手順(2)の状態に戻ります。

別のチャンネルの設定を修正するときは、手順(2)～(5)を繰り返します。

設定項目	説明
No	▼▲を押したときに表示される、チャンネルの順番です。 (この項目を変更することはできません。)
受信 CH	受信する放送局（チャンネル）を選択します。
CH 表示	画面に表示されるチャンネル番号を設定します。
微調整	受信する周波数を微調整できます。[地域コード入力] で設定したチャンネルの映りが悪いときに調整すると改善する場合があります。
スキップ	「スキップ」設定にすると、チャンネルを▼▲で選択する際にそのチャンネルをスキップします。

参考

- チャンネルの修正を行うと、設定した地域コードの表示が「000」に戻ります。
- 修正を行ったチャンネルは自動的にスキップ設定が解除されます。

2-3. 地上デジタル放送の設定

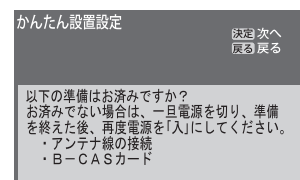
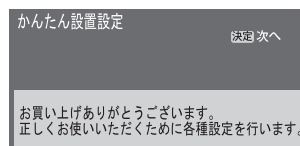
地上デジタル放送を見るための設定をします。

1. でデジタル放送に切り換えます。

ご購入後、はじめて地上デジタル放送に切り換えたときは、かんたん設置設定画面が表示されますので、表示されたメッセージに従って郵便番号の入力画面が表示されるまで進みます。

注意

- 本機ではじめて地上デジタル放送に入力を切り換えた場合は、「かんたん設置設定」を完了するまで他の入力に切り換わりません。

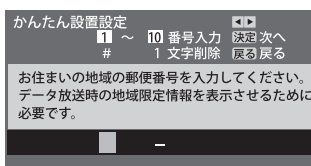


2. 設定する地域の郵便番号を入力し、決定を押します。

◀左 右▶で位置を移動し、▼下 上▲で数字を選択してください。

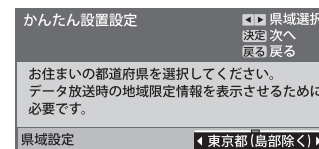
注意

- 本機では、数字や記号の直接入力には対応していません。

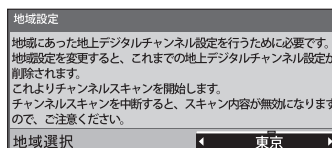


3. ◀左 右▶で設定する都道府県を選択し、決定を押します。

- 伊豆諸島、小笠原諸島地域は「東京都島部」を選択します。
- 南西諸島鹿児島県地域は「鹿児島県島部」を選択します。



4. ◀左 右▶で設定する地域を選択し、決定を押します。



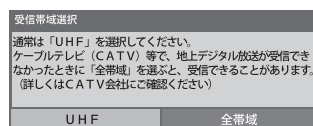
5. ◀左右▶で「UHF」または「全帯域」を選択し、決定を押します。

通常は「UHF」を選択します。「全帯域」を選択すると、VHF、UHF、C13 から C63 の帯域をスキャンします。

チャンネルスキャンが始まります。

受信される地域によっては 10 分程度かかることがあります。

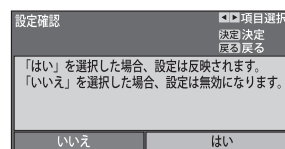
チャンネルスキャンが終了すると、チャンネル設定画面が表示されます



6. 正しく設定されていることを確認し、「終了」を選択し、決定を押します。

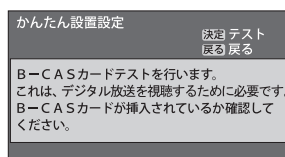
チャンネル設定				
修正	入録	終了		
リモコン	CH	放送局名	種類	
1	2 7	NHK総合・東京	テレビ	
2	2 6	NHK教育・東京	テレビ	
3	---	---	---	
4	2 5	日本テレビ	テレビ	
5	2 4	テレビ朝日	テレビ	
6	2 2	TBS	テレビ	
7	2 3	テレビ東京	テレビ	
8	2 1	フジテレビジョン	テレビ	
9	2 0	東京MXテレビ	テレビ	
10	---	---	---	
11	---	---	---	
12	2 8	放送大学	テレビ	

7. 設定確認画面で「はい」を選択し、決定を押します。



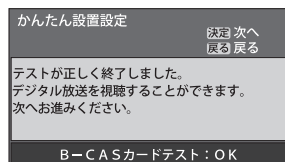
8. B-CAS カードテスト開始画面の説明を読み、決定を押します。

B-CAS カードテストが開始されます。



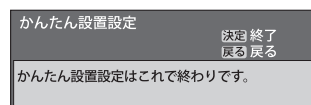
9. B-CAS カードテスト結果を確認します。

- 「B-CAS カードテスト：OK」の場合
決定を押す。
- 「B-CAS カードテスト：NG」の場合
画面の説明を確認し、決定を押す。（かんたん設置設定終了後に、B-CAS カードを挿入しなおして、[B-CASカードテスト]（P.37 参照）を行ってください。



10. かんたん設置設定終了画面の説明を読み、決定を押します。

以上で設定は終了です。



参考

- かんたん設置設定を変更したい場合は、＜本体設定＞設定タブの〔地上デジタルチューナー設定〕から行ってください。(P.36 参照)

2-4. タッチパネルの設定

付属のドライバ CD-ROM を使って、タッチパネルドライバのインストールとセットアップをおこなってください。インストールおよびセットアップの方法は CD-ROM に収録されている Readme ファイルおよびインストールガイドを参照してください。

注意点

- タッチパネルドライバのインストールは、インターフェースユニットとコンピュータが USB ケーブルで接続されていない状態でおこなってください。

1. ドライバをインストールします。

2. 調整ソフトウェアを使用して、キャリブレーションを実行します。

タスクバーのグンゼ TPDD 設定アイコンを右クリックし、リストから〔キャリブレート〕-[UFD Device1]を選択します。タスクバー上にグンゼ TPDD 設定アイコンがない場合は、Windows の〔スタート〕-〔すべてのプログラム〕-〔グンゼ TPDD〕-〔キャリブレート〕をクリックしてください。

注意点

- キャリブレーション実行後、タッチパネルの一点を押しつづけたときにカーソルが揺れる場合があります。その場合は、揺れがなくなるようにタッチパネル調整ソフトウェアの設定をしてください。
タスクバーのグンゼ TPDD 設定アイコンを右クリックし、リストから〔設定の調整〕を選択します。〔設定〕タブの〔一般設定〕で「UFD Device-1」を選択し、〔安定化〕を「5」、〔平均化〕を「10」に設定してください。値を設定しても揺れつづける場合は、設定値を変更してみてください。

第 3 章 調整・設定

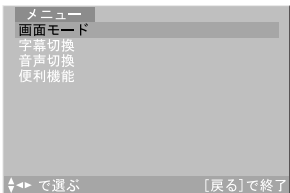
3-1. メニューについて

調整・設定するための画面には、「メニュー」画面と「設定」画面の 2 種類があります。

● 「メニュー」画面


テレビを見ているときに使えるメニューです。

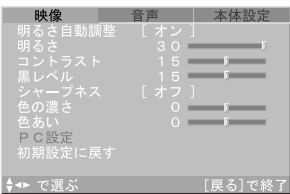
を押すと、「メニュー」画面 (OSD) が表示されます。



● 「設定」画面

さまざまな調整・設定を行う設定画面です。

を 3 秒以上続けて押すと、「設定」画面 (OSD) が表示されます。



注意点

- 「メニュー」画面および「設定」画面は 45 秒間操作がない場合、自動で終了します。

3-2. 「メニュー」画面を使って


地上アナログ放送/地上デジタル放送を視聴中に以下の設定ができます。

選択できる設定項目は、視聴している放送によって異なります。

設定項目		設定内容	地上アナログ	地上デジタル
画面モード		画面の表示サイズを選択します。	—	○
字幕切換		字幕表示の「オン」/「オフ」を切り換えます。	—	○
音声切換		音声を切り換えます。	○	○
便利機能	画面モード切換	[画面モード] と同じ設定ができます。	—	○
	データ放送表示オフ	データ放送を終了します。		
	信号切換	映像や音声の信号を切り換えます。		
	アンテナレベル	現在のアンテナレベルが表示されます。		
	枝番選局	枝番の異なる放送を選択します。		

画面モード



画面の表示サイズを選択することができます。

- (1) を押します。
- (2) ▼下 ▲上で「画面モード」を選択し、決定を押します。
- (3) ◀左 ▶右で「ノーマル」/「サイドカット」を選択し、決定を押します。

設定値	内容
ノーマル	入力信号のアスペクト情報に応じた表示になります。
サイドカット	16:9 サイズで、画面中央の 4:3 部分にのみ映像がある場合に、左右の黒帯をカットして、中央の 4:3 の部分を画面いっぱいに表示します。左右に黒帯がない映像は左右が切れます。

字幕切換



画面に字幕を表示させることができます。

- (1) を押します。
- (2) ▼下 ▲上で「字幕切換」を選択し、決定を押します。
- (3) を押すたびに「オン」/「オフ」が切り換わります。


音声切換

音声を切り換えることができます。

入力	設定内容
地上アナログ放送のとき	【二重音声放送以外の場合】 「ステレオ」または「モノラル」を選択できます。 【二重音声放送の場合】 「主音声」、「副音声」または「主+副」を選択できます。
地上デジタル放送のとき	【二重音声放送の場合】 「主音声」、「副音声」または「主+副」を選択できます。 【音声多重放送の場合】 視聴中の放送が受信している音声を選択できます。

- (1) を押します。
- (2) ▼下 ▲上で「音声切換」を選択し、決定を押します。
- (3) を押すたびに受信する音声の種類が切り換わります。

便利機能

- (1) を押します。
- (2) ▼下 上▲で「便利機能」を選択し、決定を押します。
「便利機能」メニューが表示されます。「便利機能」メニューでは、以下の設定ができます。

画面モード切替

「画面モード」と同じ設定ができます。(P.27 参照)

データ放送表示オフ

注意点

- 本機ではデータ放送をご利用いただけません。放送により、データ放送が表示された場合には、「データ放送表示オフ」で通常の放送にしてください。
- (1) ▼下 上▲で「データ放送表示オフ」を選択し、決定を押します。
「データ放送を終了しました。d ボタンで元に戻ります。」のメッセージが表示され、データ放送が終了します。
(本機では、d ボタン操作には対応していません。)

信号切替

マルチビュー対応の放送や 1 つの番組に複数の映像や音声のある放送の場合、信号を切り換えて見ることができます。

- (1) ▼下 上▲で「信号切替」を選択し、決定を押します。
- (2) ▼下 上▲で項目を、◀左 右▶で見たい信号を選択し、戻るで終了します。

アンテナレベル

デジタル放送用のアンテナのレベルを確認できます。

参考

- 現在のレベルが最大になっていないときは、アンテナの方向を調整しレベルを最大にしてください。
 - アンテナレベルは、アンテナ設置方向の最適性を確認するための目安です。表示される数値は、受信している電波の強さでなく、質（信号と雑音の比率）を表します。
 - アンテナレベルは、天候や季節などの自然条件、地域やチャンネルなどにより異なります。またアンテナの種類などによっても変動することがありますので、十分な余裕をとることをお勧めします。
- (1) ▼下 上▲で「アンテナレベル」を選択し、決定を押します。
 - (2) レベルを確認したら、戻るで終了します。

枝番選局

地上デジタル放送で、枝番の異なる放送を選択することができます。
(枝番とは、同じチャンネル番号の放送が複数受信できる場合に追加される区分番号です。)

- (1) ▼下 上▲で「枝番選局」を選択し、決定を押します。
- (2) 表示された枝番リストから見たい放送を▼下 上▲で選択し、決定を押します。

注意点


- 本機では、数字や記号の直接入力には対応していません。

3-3. 「設定」画面を使って

「設定」画面では、本機に関するさまざまな調整・設定ができます。

「設定」画面の基本操作方法

1. 「設定」画面の表示

を3秒以上続けて押します。
「設定」画面が表示されます。

2. 調整・設定

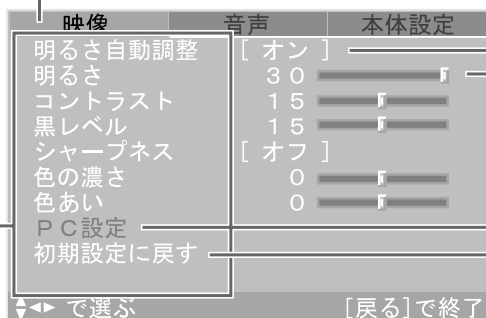
◀左 右▶、▼下 上▲で調整・設定したい項目を選択します。
各調整・設定方法については、次ページを参照してください。

3. 戻る

戻るを押して前の画面に戻ります。

各項目の調整・設定方法

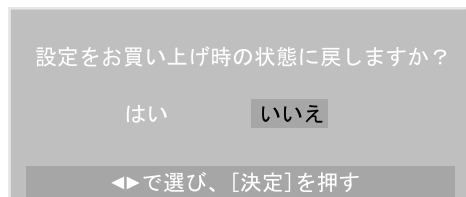
タブが選択状態（黄色表示）のときに
◀左 右▶を押すと、タブを選ぶことができます。



▼下 上▲で設定項目を選び、
決定 を押します。

[初期設定に戻す] で 決定 を押すと、
そのとき表示されている設定項目の内容を
お買い上げ時の状態に戻すことができます。

① 決定 を押す



② 実行確認画面で「はい」を選び、 決定 を押す

参考

- 戻るを押すと、前の画面に戻ります。

設定値を選ぶ項目で 決定 を押すと、選択
画面が表示されます。



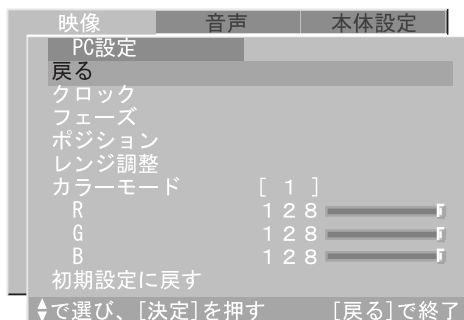
▼下 上▲で設定値を選び、決定 を押し
ます。

数値を設定する項目で 決定 を押すと、調整
画面が表示されます。（調整画面の表示中は
「設定」画面が消えます）



◀左 右▶で調整し、決定 を押します。

設定値が表示されていない項目で 決定 を
押すと、さらに詳細な「設定」画面が表示
されます。



各項目の設定が終わったら、「戻る」を選ん
で 決定 を押すか、戻る を押して元の画面
に戻ります。

調整/設定項目一覧

選択できる調整/設定項目は入力によって異なります。

調整/設定項目		地上アナログ	地上デジタル	ビデオ	PC	参照先
映像						
明るさ自動調整* ¹		○	○	○	○	P.33
明るさ* ¹		○	○	○	○	
コントラスト* ¹		○	○	○	○	
黒レベル* ¹		○	○	○	○	
シャープネス* ¹		○	○	○	—	
色の濃さ* ¹		○	○	○	—	
色あい* ¹		○	○	○	—	
PC 設定* ²	クロック	—	—	—	○	
	フェーズ	—	—	—	○	
	ポジション	—	—	—	○	
	レンジ調整	—	—	—	○	
	カラーモード	—	—	—	○	
	R/ G / B					
初期設定に戻す		—	—	—	—	
初期設定に戻す		○	○	○	○	
音声						
スピーカー選択		○	○	○	○	P.34
バランス		○	○	○	○	
高音		○	○	○	○	
低音		○	○	○	○	
BBE* ³		○	○	○	○	
PC 音声 MIX		○	○	○	○	
初期設定に戻す		○	○	○	○	
本体設定						
省電力設定	無放送電源オフ	○	—	—	—	P.35
	無信号電源オフ	—	—	○	○	
	無操作電源オフ	○	○	○	○	

調整/設定項目		地上アナログ	地上デジタル	ビデオ	PC	参照先
入力切替設定	地上アナログ	○	○	○	○	P.35
	地上デジタル	○	○	○	○	
	ビデオ	○	○	○	○	
	PC	○	○	○	○	
	地上アナログチャンネル設定*4	地域コード入力	○	—	—	
		手動設定	○	—	—	
	地上デジタルチューナー設定*5	—	○	—	—	
ロックモード		○	○	○	○	

*1 明るさ自動調整と明るさ、コントラスト、黒レベル、シャープネス、色の濃さ、色あいの調整については調整したい表示画面の入力（地上アナログ、地上デジタル、ビデオ、PC）に切り換えてから行ってください。

*2 コンピュータ表示画面専用の調整項目です。

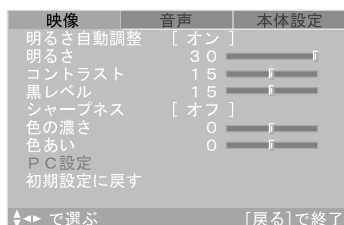
*3 FlexView 125 には BBE 設定はありません（常にオフです）。

*4 地上アナログ放送専用の調整項目です。（本機の設定によって、利用できない場合があります。）

*5 地上デジタル放送専用の調整項目です。

映像設定

＜映像＞設定タブでは映像の調整を行うことができます。各入力画面に切り換えてそれぞれ設定してください。（「設定」画面の操作方法は P.30 を参照してください。）



調整項目/設定値			調整内容	
明るさ自動調整			オフ	[明るさ] で設定した値で表示します。
			オン	モニターのディマーセンサーが周囲の明るさに応じて自動で画面の明るさを調整します。(明るさの上限は[明るさ]で設定した値になります。)
			おすすめ	明るさの上限を固定し、自動で画面の明るさを調整します。
明るさ*1			0～30	バックライトの明るさを調整します。
コントラスト			0～30	コントラストを調整します。
黒レベル			0～30	画像の明るさを調整します。
シャープネス			オフ/弱/強	画像の輪郭を調整します。
色の濃さ			－30～＋30	色の濃さを調整します。
色あい			－30～＋30	色あいを調整します。
PC 設定*2	クロック			縦縞が出ている場合に調整します。
	フェーズ			ちらついたり、にじむように見える場合に調整します。
	ポジション			表示位置がずれている場合に調整します。
	レンジ調整			すべての色階調（0～255）を表示させたい場合に自動調整します。
	カラーモード*3		1/2/3	カラーモード（1/2/3）を選択し、各モードで赤、緑、青の色を調整します。
	R/G/B	0～128		
	初期設定に戻す			[PC 設定] で調整した状態を工場出荷状態にリセットします。
初期設定に戻す				＜映像＞タブで調整した状態を工場出荷状態にリセットします。初期設定値は P.46 を参照してください。

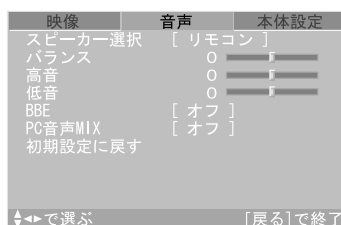
*¹ [明るさ自動調整] を「おすすめ」に設定している場合には、[明るさ] を調整できません。

*² 本機にコンピュータを接続した場合に設定が有効になります。コンピュータによって画面や色調整が必要な場合に調整してください。

*³ カラー調整を行うときは、まず [レンジ調整] を行ってください。

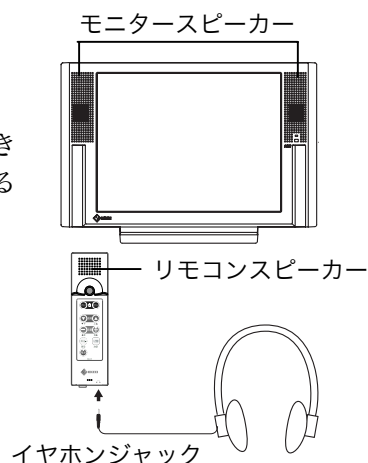
音声設定

＜音声＞設定タブでは音声の設定を行うことができます。（「設定」画面の操作方法は P.30 を参照してください。）



スピーカーについて

スピーカーは、モニターとリモコンについています。
[スピーカー選択] 設定でどちらから出力するかを選択できます。またリモコンにイヤホンやヘッドホンを接続している場合は、スピーカーからの音声出力は停止します。

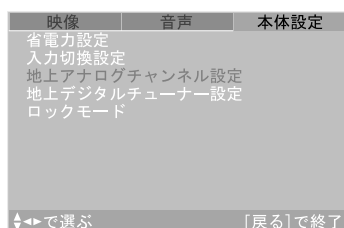



調整項目/設定値		調整内容
スピーカー選択	モニター/ リモコン/ スピーカー オフ	音声の出力先を「モニター」または「リモコン」から選択します。「スピーカーオフ」を選択すると、スピーカーからの音声出力は停止します。 (イヤホンは、設定に関係なくご使用できます。イヤホン接続時はスピーカーからの音声出力が停止します。)
バランス	-6～+6	スピーカーの左右の出力バランスを調整します。 (リモコンスピーカー使用時にバランスを調整すると音量が変化してしまいますので、バランスの調整は行わないでください。)
高音	-6～+6	設定値が高いほど高音域の量が強調され、低いほど高音域の音が弱くなります。
低音	-6～+6	設定値が高いほど低音域の量が強調され、低いほど低音域の音が弱くなります。
BBE ^{*1}	オフ/オン	「オフ」または「オン」に切り換えます。減衰しやすい高音域を補い位相補正することで本来の自然な音に近づけ、人の声などを聞きやすくします。
PC 音声 MIX	オフ/オン	スピーカーの音声に PC 音声入力をミキシングします。コンピュータ表示画面ではコンピュータの音声入力だけ出力します。
初期設定に戻す	—	＜音声＞設定タブで調整した状態を工場出荷状態にリセットすることができます。初期設定値は P.46 を参照してください。

^{*1} FlexView 125 には BBE 設定はありません（常にオフです）。

本体設定

＜本体設定＞設定タブでは省電力設定や入力切替設定、チャンネル設定、地上デジタル放送に関する設定など、本体に関する設定を行うことができます。



調整項目/設定値		調整内容
省電力設定* ¹		省エネルギーに関する設定を行います。(電源の切り忘れによる電力消費を抑えられます。)
	無放送電源オフ	地上アナログ放送のときに、放送が無い状態が 15 分続いた場合に自動で電源を切ります。
	無信号電源オフ	ビデオ/PC 視聴中に、信号の無い状態が 15 分続いた場合に自動で電源を切ります。
	無操作電源オフ	すべての入力で、リモコン操作が無い状態が 3 時間続いた場合に電源を切ります。
入力切替設定* ²	地上アナログ/ 地上デジタル/ ビデオ/PC	 で選択できる入力をあらかじめ設定します。
地上アナログ チャンネル設定	地域コード入力	地上アナログ放送のチャンネル設定をします。 (P.21 参照)
	手動設定	
地上デジタルチューナー設定		地上デジタル放送に関する設定を行います。 (P.36 参照)
ロックモード		一度、設定/調整した状態を変更しないように、 操作できる機能を制限します。(P.39 参照)

*¹ コンピュータと本機が USB で接続されている場合は、PC 入力時の無操作電源オフ機能は強制的に無効になります。

*² すべての入力を「無効」に設定すると、現在の入力から他の入力への切替ができなくなります。また、いったん電源を切り再び電源を入れたときは、電源を切ったときに選択していた入力になります。

● 地上デジタルチューナー設定

地上デジタルチューナー設定では、以下の設定ができます。各機能の操作については、画面の表示を参考にしてください。

調整項目/設定値			設定内容
番組を探す			
番組表で	番組表		番組表や番組内容を表示します。
	番組内容		
今放送中から	裏番組表		現在放送中の番組一覧を表示します。
ジャンル別に	ジャンル検索	メインジャンル	ジャンル別に番組を検索します。
		サブジャンル	
		ジャンル検索結果	
メール/情報			
放送メール	メール一覧		放送局、本機からのお知らせを確認します。
	メール内容表示		
B-CAS カード			B-CAS カードの登録番号を確認します。
ID 表示			本機に関するソフト情報を確認します。
お好みページ*1			—
システム設定			
字幕の設定	字幕	オフ/オン	字幕を表示するか、表示しないかを設定します。
	字幕言語		字幕の言語を設定します。
	文字スーパー	オフ/オン	番組放送中のお知らせを表示するか、表示しないかを設定します。
	文字スーパー言語		文字スーパーの言語を設定します。
文字入力設定*1			—
選局対象	お好み/テレビ/データ/すべて		デジタル放送で選択できる放送の種類を設定します。 「お好み」：チャンネル設定で設定したチャンネル 「テレビ」：スキャンして受信したチャンネルのみ 「データ」：データ放送のチャンネルのみ 「すべて」：現在受信できるすべてのチャンネル
タイトル表示	オフ/オン		デジタル放送の画面表示で、タイトルを表示するか、表示しないかを設定します。

調整項目/設定値				設定内容	
機能待機		しない/する		電源オフ時の待機状態を設定します。「する」に設定すると電源オン時の出画時間が早くなりますが、待機時に約 7W の電力を消費します。	
初期設定					
かんたん設置設定				デジタル放送視聴に関する設定をします。(P.23 参照)	
	設置設定	チャンネル設定	初期スキャン	地上デジタル放送のチャンネル設定をします。	
			再スキャン		
			マニュアル		
		地域設定	県域設定	本機を使用する地域が変わった場合に設定します。	
			郵便番号		
			地域設定削除		
		受信設定	物理チャンネル選択	アンテナに関する設定をします。	
			アンテナレベル		
		B-CAS カードテスト			B-CAS カードの動作確認をします。
		ネットワーク設定* ¹			—
ブラウザ設定* ¹			—		
自動更新設定	ダウンロード予約	自動	デジタル放送に関する情報のダウンロードを自動で行います。		
		手動	デジタル放送に関する情報をメールで受け取り、手動でダウンロードを行います。		
設定リセット	個人情報リセット			本機の設定を工場出荷時に戻します。(P.38 参照)	

*¹ 本機では対応していません。



注意点

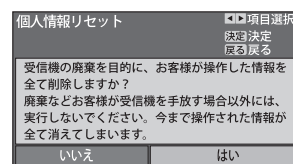
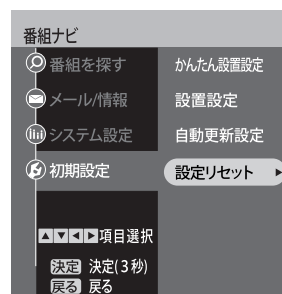
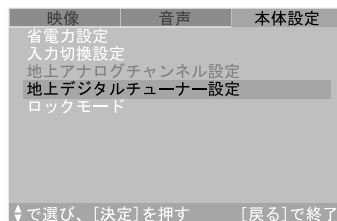
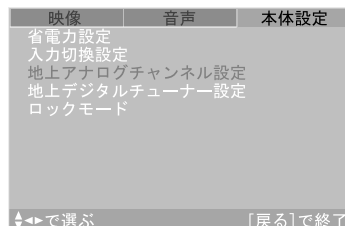
- 本機ではリモコンボタンの数に制限があるため、画面上で提供されている機能の中にはご利用いただけないもの（カラーボタン機能など）があります。

すべての設定をお買い上げ時に戻す

すべての設定を工場出荷状態に戻すときは次の手順に従ってください。初期設定値はP.46を参照してください。

【設定手順】

- (1)  で地上デジタル放送に切り換えます。
- (2)  を3秒以上続けて押し、「設定」画面を表示します。
- (3) ◀左 右▶で<本体設定>を選択します。
- (4) ▼下 上▲で[地上デジタルチューナー設定]を選択し、決定を押します。
- (5) ▼下 上▲で[初期設定]を選択し、決定を押します。
- (6) ▼下 上▲で[設定リセット]を選択し、決定を3秒以上続けて押します。
- (7) 個人情報リセット画面で「はい」を選択し、決定を押します。
「リセットが終了しました。電源プラグを抜いてください。」とメッセージが表示されます。
- (8) メッセージに従って電源プラグを抜き、再び電源プラグを差します。




第 4 章 ロックモードで使用する

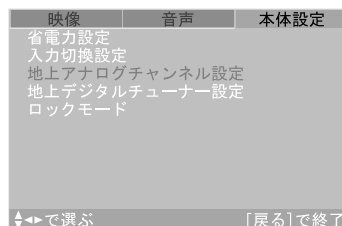
一度、調整/設定した状態を変更しないように、機能を制限することができます（ロックモード）。ロックモードで実行できる機能およびメニュー項目は次のとおりです。

リモコン機能	「メニュー」画面（OSD）機能	その他の機能
<ul style="list-style-type: none"> ● 電源オン/オフ⇒P.13 ● 音量調節⇒P.13 ● 入力切替⇒P.13 ● チャンネル選局（地上アナログ/地上デジタル）⇒P.13 ● 「メニュー」画面の表示⇒P.26 	<ul style="list-style-type: none"> ● 画面モード（地上デジタル）⇒P.27 ● 字幕切替（地上デジタル）⇒P.27 ● 音声切替（地上アナログ/地上デジタル）⇒P.27 ● 便利機能（地上デジタル）⇒P.28 	<ul style="list-style-type: none"> ● リモコンをマウスとして使用する（コンピュータ接続時のみ）⇒P.13

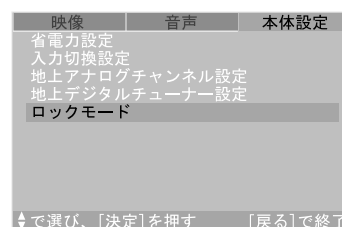
【設定手順】

(1)  を 3 秒以上続けて押し、「設定」画面を表示します。

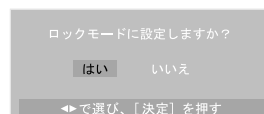
(2) ◀左 右▶で<本体設定>を選択し、決定を押します。



(3) ▼下 上▲で [ロックモード] を選択し、決定を押します。







(4) 設定確認画面で「はい」を選択し、決定を押します。



【解除手順】

(1)  を押し、いったん電源を切ります。

(2)  →  →  →  の順にリモコンのボタンを押します。

 を押しながらか  を押し、再び電源を入れます。




【注意点】

- 解除の際は手順(1)、(2)を 5 秒以内で行ってください。

第 5 章 故障かなと思ったら

症状に対する処置を行っても解消されない場合は、販売店またはエイゾーサポートにご相談ください。

症状	原因/対処方法
1. 映像も音声も出ない	<input type="checkbox"/> 電源コードは正しく差し込まれていますか。 <input type="checkbox"/> 外部機器の電源スイッチは「ON」になっていますか。
2. 映像が出ない	<input type="checkbox"/> 明るさは正しく調整されていますか。[明るさ]、[コントラスト] の設定を確認してみてください。(P.33参照)
3. 音声が出ない	<input type="checkbox"/> イヤホンやヘッドホンが接続されたままになっていませんか。 <input type="checkbox"/> リモコンコードは正しく差し込まれていますか。 <input type="checkbox"/> <音声>設定タブの[スピーカー選択] 設定が「スピーカーオフ」になっていませんか。
4. 画面が明るすぎる/暗すぎる	<input type="checkbox"/> モニターユニットのディマーセンサーをふさいでいませんか。 <input type="checkbox"/> [明るさ]、[コントラスト] を調整してください。(液晶モニターのバックライトには寿命があります。画面が暗くなったり、ちらついたりするようになったら、エイゾーサポートにご相談ください。) バックライトの明るさ調整は、P.33を参照してください。
5. 画面に緑、赤、青、白のドットが残る、または点灯しないドットが残る	<input type="checkbox"/> これらのドットが残るのは液晶パネルの特性であり、故障ではありません。
6. 残像が現れる	<input type="checkbox"/> コンピュータ画面で長時間同じ画像を表示する場合に、スクリーンセーバーを活用していますか。 <input type="checkbox"/> この現象は液晶パネルの特性であり、固定画面での長時間の使用を極力避けることをおすすめします。
7. TV の映りが悪い	<input type="checkbox"/> アンテナはインターフェースユニットにしっかり接続されていますか。 <input type="checkbox"/> 電波状態が悪い場合も考えられます。
8. 音量の調整ができない	<input type="checkbox"/> [音量制限] の [固定値設定] 機能を有効に設定している場合には、音量の調整はできません。

症状	原因/対処方法
9. (タッチパネル装着モニターの場合) タッチパネルの一点を押したときにカーソルが揺れる	<input type="checkbox"/> タスクバーのグンゼ TPDD 設定アイコンを右クリックし、リストから [設定の調整] を選択します。 [設定] タブの [一般設定] で「UFD Device-1」を選択し、[安定化] を「5」、[平均化] を「10」に設定してください。(P.25参照) 値を設定しても揺れつづける場合は、設定値を変更してみてください。
10. コンピュータ表示画面で、以下のような画面が表示される	この表示はモニターが正常に機能していても、信号が正しく入力されないときに表示されます。
● 信号が入力されていない場合の表示です。 	<input type="checkbox"/> コンピュータによっては電源投入時に信号がすぐに出力されないため、左のような画面が表示されることがあります。 <input type="checkbox"/> コンピュータの電源は入っていますか。 <input type="checkbox"/> 信号ケーブルは正しく接続されていますか。 <input type="checkbox"/>  で入力を切り換えてみてください。
● 入力されている信号が周波仕様数範囲外であることを示す表示です。 	<input type="checkbox"/> グラフィックスボードのユーティリティなどで適切な表示画面に変更してください。詳しくはグラフィックスボードの取扱説明書を参照してください。
11. コンピュータ表示画面で画像の位置が適正でない	<input type="checkbox"/> [ポジション] を調整してください。
12. コンピュータ表示画面で画面に縦線が出ている/画面の一部がちらついている	<input type="checkbox"/> [クロック] を調整してください。
13. コンピュータ表示画面で画面全体がちらつく、にじむように見える	<input type="checkbox"/> [フェーズ] を調整してください。

メッセージ一覧

画面に表示される主なメッセージを説明します。

メッセージ	内容
「受信できません。アンテナの設定や調整を確認してください。」	<input type="checkbox"/> アンテナの設定や調整が正しくできていない、天候の影響などで受信障害が発生している、または放送されていないチャンネルを選択しているため受信できません。
「現在、受信できません。」	<input type="checkbox"/> 受信するための送信データが異常の場合に表示されます。
「B-CAS カードを正しく挿入してください。」	<input type="checkbox"/> B-CAS カードの挿入方向違い、または使用できないカードが挿入されています。
「緊急放送が開始されました。決定で選局、戻るで本メッセージを非表示にします。」	<input type="checkbox"/> 緊急警報放送が始まっています。必ず確認してください。
「タイマーチェック」*1	<input type="checkbox"/> 課金システム機能を有効に設定しているときに、課金システムから「表示不可」信号を受信している場合。 地上デジタル放送視聴時にこのメッセージが出ている場合、▼下 上▲は無効になります。
「設定できません」	<input type="checkbox"/> ロックモード時に「入力切換」キーが長押しされた場合に表示されます。 <input type="checkbox"/> 音量を、[音量制限] の [最大値設定] 機能で設定した大きさより大きくしようとした場合に表示されます。 <input type="checkbox"/> ビデオまたはPC入力で、メニューを押した場合に表示されます。 <input type="checkbox"/> 地上アナログチャンネル放送の地域コード入力で無効なコードを入力した場合に表示されます。
「まもなく電源が切れます」	<input type="checkbox"/> [省電力設定] 機能を「有効」に設定した場合、電源が切れる 60 秒前に表示されます。
「しばらくお待ちください」	<input type="checkbox"/> 電源オン時に地上デジタル放送を選択している場合、画面が表示されるまで表示します。 <input type="checkbox"/> レンジ調整を実行中に表示されます。

*1 「タイマーチェック」表示中は、省電力設定を設定していても動作しません。

第 6 章 お手入れ

本製品を美しく保ち、長くお使いいただくためにも定期的にクリーニングを行うことをおすすめします。

注意点

- 溶剤や薬品（シンナーやベンジン、ワックス、アルコール、その他研磨クリーナーなど）は、キャビネットやモニターパネル面をいためるため絶対に使用しないでください。
- パネル面とパネルの外枠との間に、液体が入らないように注意してください。
- **タッチパネル装着モニターをご使用の場合**
帯電防止剤入りクリーナーは、タッチパネルの感度に影響しますので使用しないでください。

キャビネット

柔らかい布を中性洗剤でわずかにしめらせ、汚れをふき取ってください。（使用不可の洗剤については上記の注意を参照してください。）

モニターパネル面

- 汚れのふき取りにはコットンなどの柔らかい布や、レンズクリーナー紙のようなものをご使用ください。
- 落ちにくい汚れは、少量の水をしめらせた布でやさしくふき取ってください。ふき取り後、もう一度乾いた布でふいていただくと、よりきれいな仕上がりとなります。

参考

- パネル面のクリーニングには ScreenCleaner（オプション品）をご利用いただくことをおすすめします。

第 7 章 仕様

モニターユニット

■FlexView 155

液晶パネル	15 型カラーTFT、0.297mm ドットピッチ ノングレア処理保護パネル、視野角：左右 150°、上下 110°
表示サイズ	304.1mm (H) × 228.1mm (V)
推奨解像度	1024 ドット×768 ライン
最大表示色	1619 万色
内蔵スピーカー	ステレオ (φ28mm)
寸法	426 (W) ×301 (H) ×51 (D) mm
質量	3.4kg
モニター接続ケーブル長	全長 3m または 5m (付属アームに内蔵)、または付属なし

■FlexView 125

液晶パネル	12.1 型カラーTFT、0.24mm ドットピッチ ノングレア処理保護パネル、視野角：左右 120°、上下 90°
表示サイズ	245.76mm (H) × 184.32mm (V)
推奨解像度	1024 ドット×768 ライン
最大表示色	1619 万色
内蔵スピーカー	ステレオ (20×40mm)
寸法	369 (W) ×258 (H) ×47 (D) mm
質量	2.0kg
モニター接続ケーブル長	全長 3m または 5m (付属アームに内蔵)

インターフェースユニット

入力信号	TV	F 接栓 アナログ：1～62ch/C13～C38ch、NTSC 方式 デジタル：000～999ch、CATV パススルー対応
	ビデオ (映像信号)	ピンジャック/S 端子、NTSC 方式、同時接続時 S 端子優先
	ビデオ (音声信号)	ピンジャック、L/R
	PC (映像信号)	D-Sub15 ピン (ミニ) VESA DDC 2B 対応 水平走査周波数：31kHz～50kHz 垂直走査周波数：55Hz～75Hz (1024×768 は 55Hz～60Hz) ドットクロック：25MHz～65MHz 入力同期信号：セパレート、TTL、正/負極性 入力映像信号：アナログ、正極性 (0.7Vp-p/75Ω)
	PC (音声信号)	ステレオミニジャック (φ3.5mm)

USB	インターフェースユニット	アップストリーム×1、ダウンストリーム×2 USB 規格: REV. 2.0 準拠 通信速度: 480 Mbps (ハイスピード)、12Mbps (フルスピード)、1.5Mbps (ロースピード) 供給電流: 最大 500mA/ポート
	モニターユニット (FlexView 155 のみ)	ダウンストリーム×2 ^{*1} USB 規格: REV. 2.0 準拠 通信速度: 12Mbps (フルスピード)、1.5Mbps (ロースピード) 供給電流: 最大 100mA/ポート
シリアルポート		RS-232C×1
電源		100VAC±10%、50/60Hz
消費電力	FlexView 155	
	電源ボタンオン時	60W 以下 (USB 機器接続時、ステレオミニジャック接続時) 50W 以下 (USB 機器非接続時、ステレオミニジャック非接続時)
	電源ボタンオフ時	[機能待機] 設定が「する」の場合: 7W 以下 (USB 機器非接続時、ステレオミニジャック非接続時) [機能待機] 設定を「しない」の場合: 0.8W 以下 (USB 機器非接続時、ステレオミニジャック非接続時)
	FlexView 125	
	電源ボタンオン時	40W 以下 (USB 機器接続時、ステレオミニジャック接続時) 30W 以下 (USB 機器非接続時、ステレオミニジャック非接続時)
	電源ボタンオフ時	[機能待機] 設定が「する」の場合: 7W 以下 (USB 機器非接続時、ステレオミニジャック非接続時) [機能待機] 設定を「しない」の場合: 0.8W 以下 (USB 機器非接続時、ステレオミニジャック非接続時)
年間消費電力量 ^{*2}	FlexView 155	区分名 ^{*3} : BP、受信機型サイズ: 15V 型 43kWh/年 (「おすすめ」設定時)
	FlexView 125	区分名 ^{*3} : BK、受信機型サイズ: 12V 型 35kWh/年 (「おすすめ」設定時)
寸法		196 (W) ×79 (H) ×250 (D) mm ^{*4}
質量		2.2kg

^{*1} モニターの内部にありますのでご使用の際は販売店にご連絡ください。

^{*2} 年間消費電力量: 省エネルギー法に基づいて、型サイズや受信機の種類の算定式により、一般家庭での平均視聴時間を基準に算定した、一年間に使用する電力量です。

^{*3} 区分名: 省エネルギー法によるテレビに使用される表示素子、アスペクト比、画素数、受信可能な放送形態および付加機能の有無などに基づいた区分の名称です。

^{*4} 突起部含まず

リモコン

イヤホンジャック	ステレオミニジャック (φ3.5mm)
通信方式	ワイヤード方式
ボタン (キー) 数	10 (マウス機能含む)
内蔵スピーカー	モノラル (φ28mm)
使用電源	インターフェースユニットより専用ケーブルで供給
寸法	48 (W) ×175 (H) ×24 (D) mm
質量	0.3kg
ケーブル長	2m または 3.5m

タッチパネル

対応 OS	Windows XP/Vista(32 ビット版)
通信手段	USB LowSpeed Interrupt 転送
検出方法	アナログ抵抗膜方式

アームユニット

質量	FlexView 155	ラックアーム (信号ケーブル付き) : 4.4kg ハーフアーム (信号ケーブル付き) ・ FV-HA150* ¹ : 2.0kg ・ FV-HA150B* ¹ : 2.4kg
	FlexView 125	標準アーム (信号ケーブル付き) : 3.3kg ショートアーム (信号ケーブル付き) : 2.9kg ハーフアーム (信号ケーブル付き) : 4.3kg

*¹ 型名は、アーム本体のラベル上に表示があります。

環境条件

周囲温度	動作時	モニターユニット	0～35℃
		インターフェース ユニット	0～40℃
	保存時		-20～60℃
周囲湿度			30～80％R.H.結露なきこと

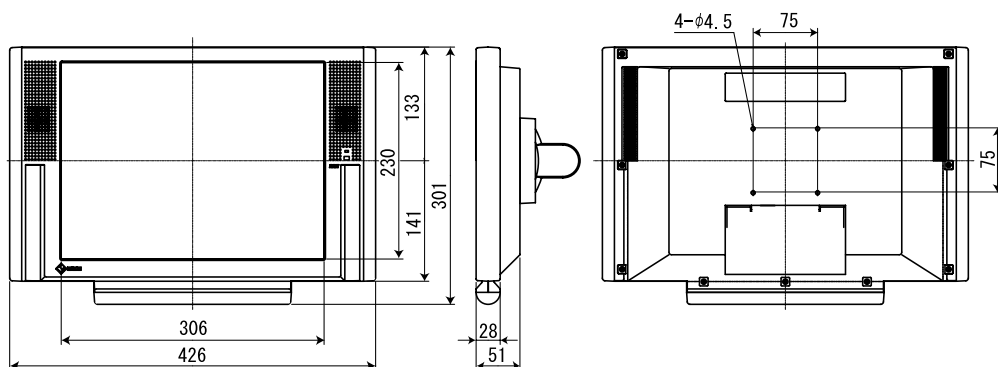
■主な初期設定 (工場出荷設定) 値

映像	明るさ自動調整	オフ
	明るさ	30
	コントラスト	15
音声	スピーカー選択	リモコン
	バランス	0
	高音	0
	低音	0
	BBE	オフ
	PC 音声 MIX	オフ
本体設定	省電力設定	すべて無効

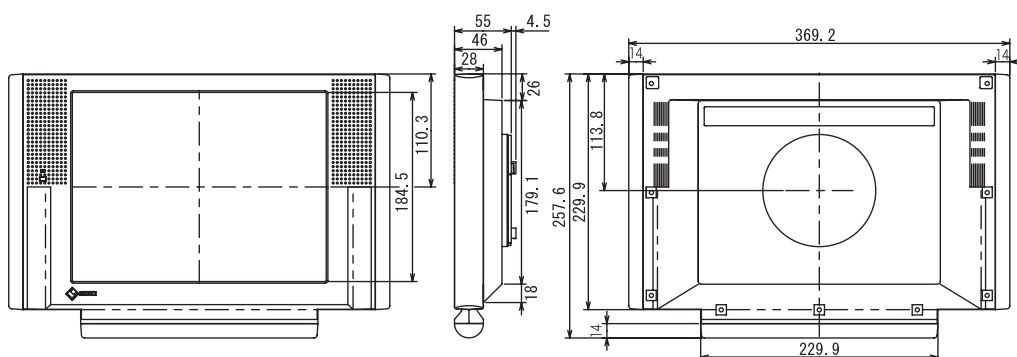
■外観寸法

単位：mm

モニターユニット FlexView 155

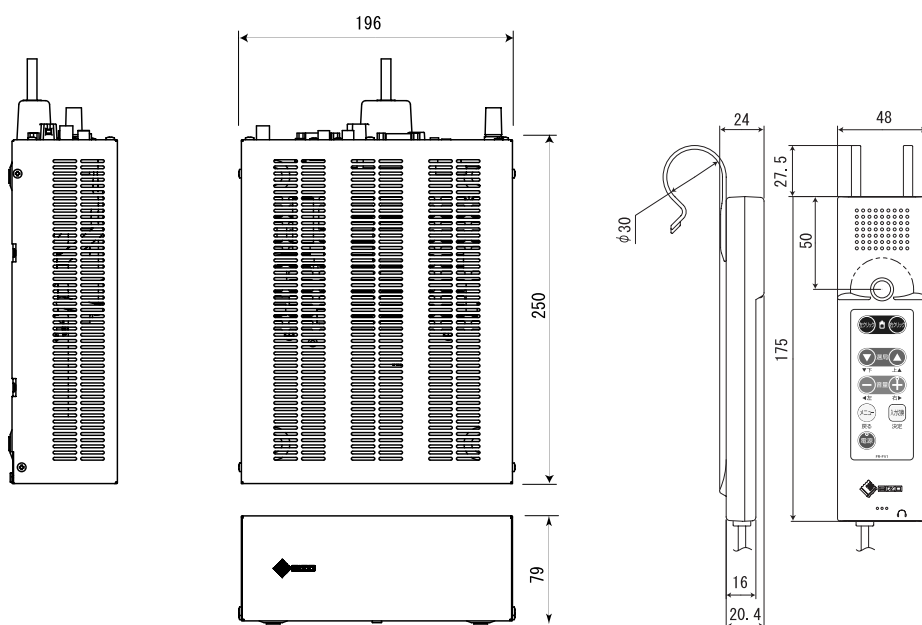


モニターユニット FlexView 125



インターフェースユニット

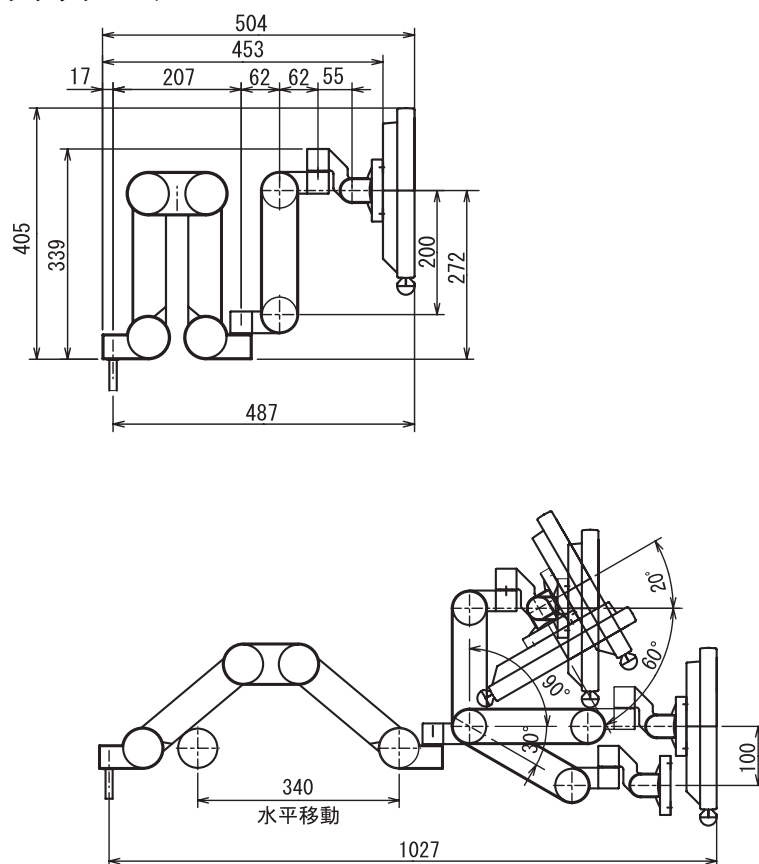
リモコン



アームユニット FlexView 155

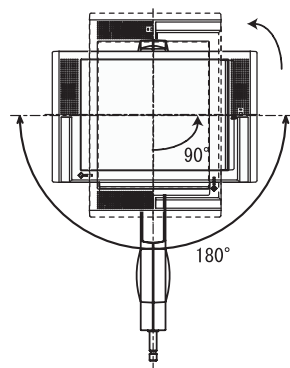
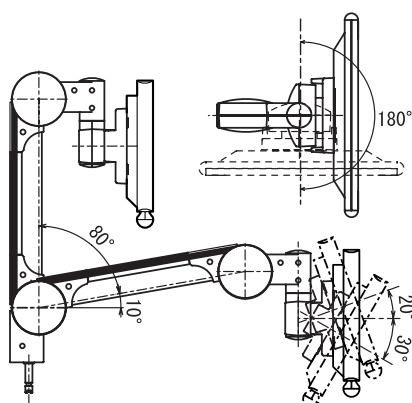
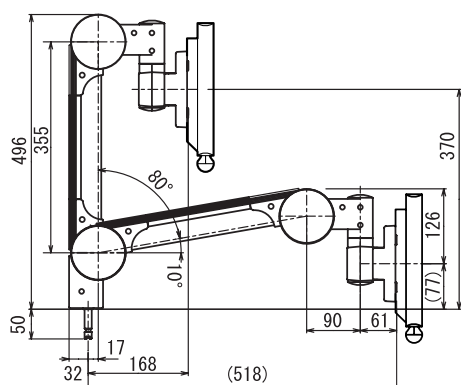
単位：mm

● ラックアーム



● ハーフアーム
FV-HA150*¹

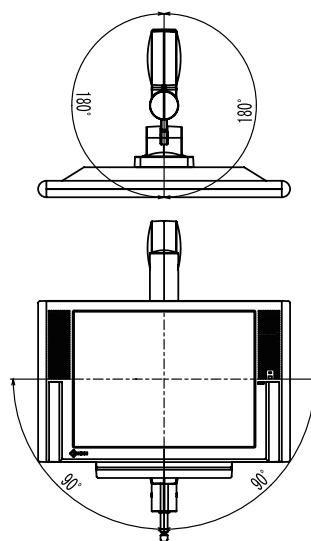
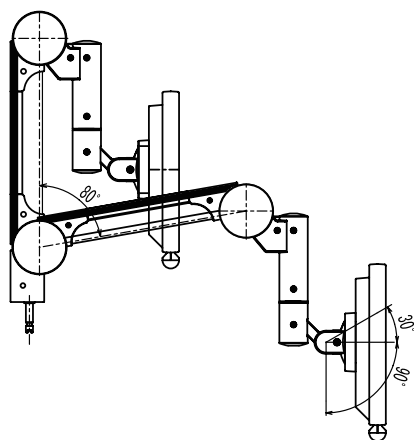
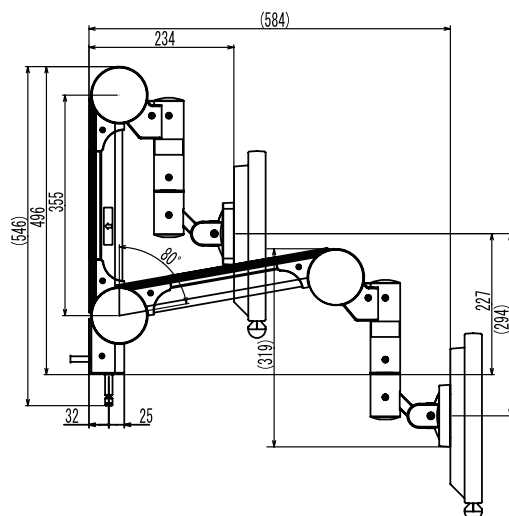
単位：mm



*¹ 型名は、アーム本体のラベル上に表示があります。

FV-HA150B*¹

単位：mm

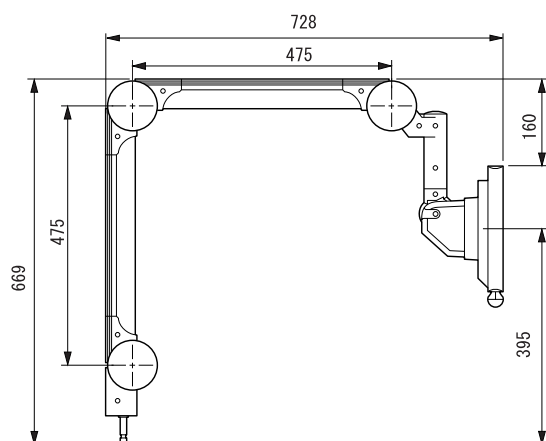


*¹ 型名は、アーム本体のラベル上に表示があります。

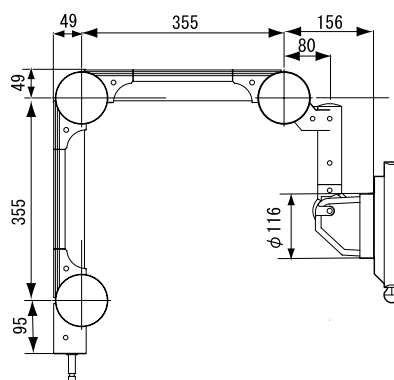
アームユニット FlexView 125

単位：mm

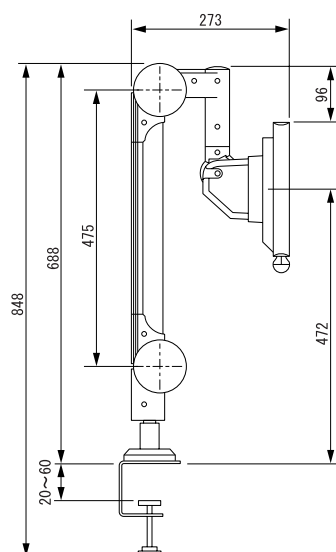
● 標準アーム



● ショートアーム

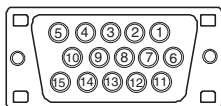


● ハーフアーム



■入力信号接続

● D-Sub15 ピン (ミニ) コネクタ



ピン No.	入力信号	ピン No.	入力信号	ピン No.	入力信号
1	Red video	6	Red video ground	11	NC
2	Green video	7	Green video ground	12	Data (SDA)
3	Blue video	8	Blue video ground	13	H.Sync
4	NC*	9	NC	14	V.Sync
5	Ground	10	Ground	15	Clock (SDL)

(*NC: No Connection)

第 8 章 用語集

解像度

液晶パネルは決められた大きさの画素を敷き詰めて、その画素を光らせて画像を表示させています。本製品の場合は横 1024 個、縦 768 個の画素がそれぞれ敷き詰められています。このため、1024×768 の解像度であれば、画像は画面いっぱい（1 対 1）に表示されます。

クロック

アナログ入力方式のモニターにおいて、アナログ入力信号をデジタル信号に変換して画像を表示する際に、使用しているグラフィクスシステムのドットクロックと同じ周波数のクロックを再生する必要があります。このクロックの値を調整することをクロック調整といい、クロックの値が正常でない場合は画面上に縦縞が現れます。

残像現象

同じ画像を長時間表示することによって、表示を変えたときに前の画像が残像として見えてしまう現象です。これは液晶の特性によるもので、別の画像を表示してしばらく経過すると解消します。

フェーズ

アナログ入力信号をデジタル信号に変換する際のサンプリングタイミングのことで、このタイミングを調整することをフェーズ調整といいます。クロックを正しく調整した後でフェーズ調整を行うことをおすすめします。

レンジ調整

信号の出力レベルを調整し、すべての色階調を表示できるように調整します。カラー調整を行う前にはレンジ調整を行うことをおすすめします。

第 9 章 付録

地域コード一覧

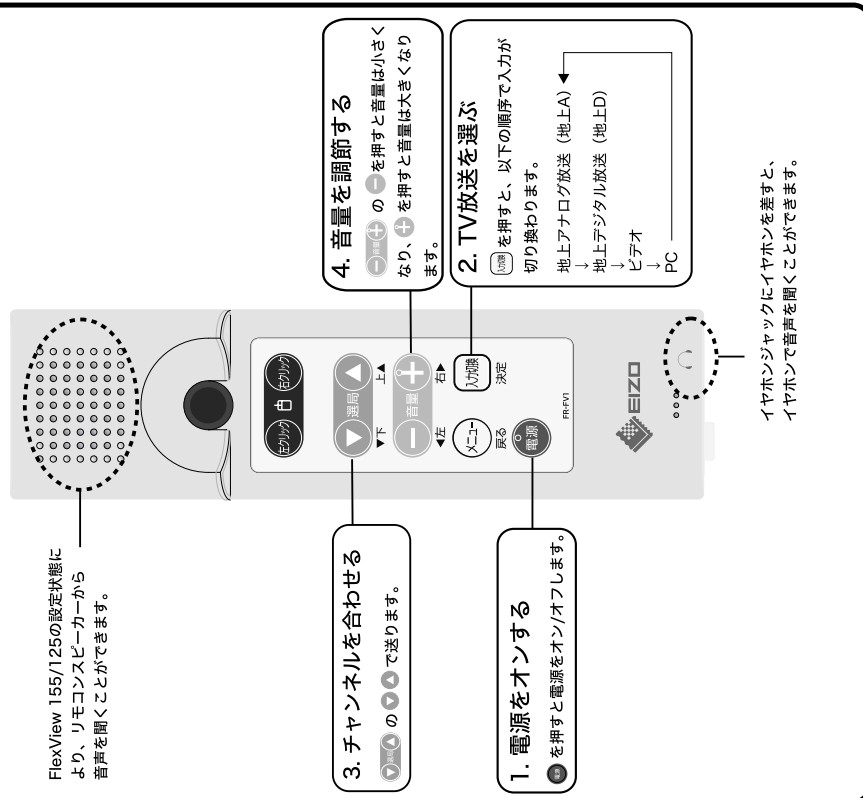
地上アナログ放送のチャンネルを「地域コード」で設定すると、設定した地域の放送局を自動で設定できます。

設定する地域がこの表にない場合は、近くの地域名・都市名で設定してください。正しく設定できないときは〔手動設定〕で修正してください。(P.22 参照)

都道府県	都市	地域コード	都道府県	都市	地域コード	都道府県	都市	地域コード
北海道	札幌	001	神奈川	横浜	043	愛知	豊田	089
	小樽	002		横浜・みなと	044		豊橋	090
	函館	003		平塚	045	三重	津	092
	旭川	004		小田原	046		伊勢	093
	名寄	005	埼玉	さいたま	048		名張	094
	稚内	006		秩父	049	静岡	静岡	096
	帯広	007		熊谷	050		富士・富士宮	097
	釧路	008	栃木	宇都宮	052		島田	098
	網走	009		矢板	053		三島・沼津	099
	北見	010		足利	054		浜松	100
	室蘭	011	群馬	前橋	055	京都	京都	102
	苫小牧	012		桐生	056		山科	103
青森	青森	014	千葉	千葉・船橋	058		舞鶴	104
	五所川原	015		成田	059		福知山	105
	むつ	016	茨城	水戸	061	大阪	大阪地域	107
	八戸	017		日立	062	兵庫	神戸	113
岩手	盛岡	019	山梨	甲府	064		神戸	109
	釜石	020		新潟	066		三木	110
	二戸	021	新潟	上越	067		明石	111
	一関	022		長野 (美ヶ原)	068		姫路	112
山形	山形	023		長野 (善光寺平)	069	和歌山	和歌山	114
	新庄	024	和歌山	松本	070		海南	115
	米沢	025		岡谷・諏訪	071		田辺	116
	鶴岡	026		飯田	072	奈良	奈良	118
							生駒	119
秋田	秋田	028	富山	富山	074		五條	120
	大館	029		高岡	075	滋賀	大津	122
	大曲・横手	030	石川	金沢	077		彦根	123
宮城	仙台	032		七尾	078	岡山	岡山	125
	気仙沼	033	福井	福井	080		津山	126
福島	福島	035		敦賀	081		笠岡	127
	会津若松	036	岐阜	岐阜	083	広島	広島	129
	いわき	037		岐阜長良	084		呉	130
東京	東京 23 区	039		中津川	085		尾道	131
	八王子	040		高山	086		福山	132
	多摩	041	愛知	名古屋	088			

都道府県	都市	地域 コード
山口	山口	134
	防府	135
	岩国	136
	宇部	137
	下関	138
鳥取	鳥取	140
	米子	141
	倉吉	142
島根	松江	144
	浜田	145
香川	高松	147
	丸亀	148
徳島	徳島	150
愛媛	松山	152
	新居浜	153
	今治	154
高知	高知	156
福岡	福岡	158
	久留米	159
	大牟田	160
	北九州	161
	行橋	162
佐賀	佐賀	164
	伊万里	165
長崎	長崎	167
	諫早	168
	佐世保	169
熊本	熊本	171
	水俣	172
鹿児島	鹿児島	174
	鹿屋	175
	阿久根	176
大分	大分	178
	中津	179
宮崎	宮崎	181
	延岡	182
沖縄	那覇	184

TVを見る

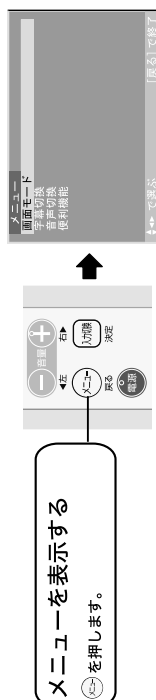


操作方法

FlexView® 155/125

TVの操作...

メニューを使うと次のことができます。



◆画面の表示サイズを切り換える (地上デジタル放送視聴時)

1. ▼下 ▲上 で [画面モード] を選択し、決定 を押します。
2. ◀左 ▶右 で「ノーマル」/「サイドカット」を選択し、決定 を押します。



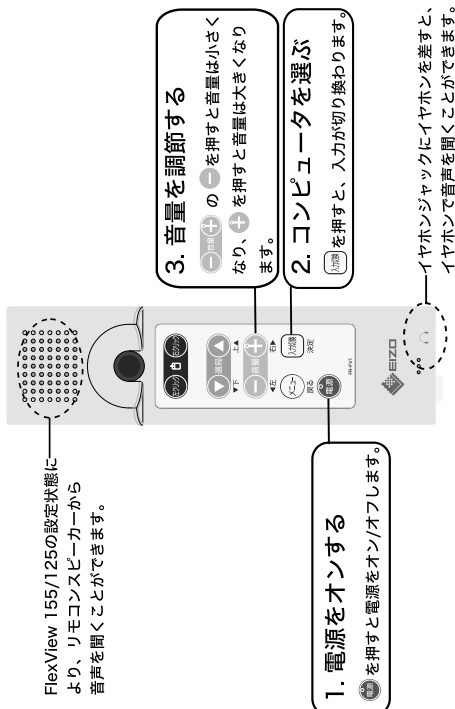
◆字幕を表示する (地上デジタル放送視聴時)

1. ▼下 ▲上 で [字幕切替] を選択し、決定 を押します。
2. 加減 を押すたびに「オン」/「オフ」が切り換わります。

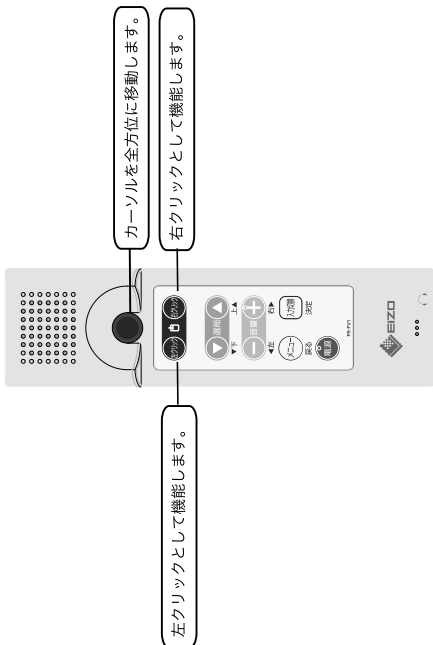
◆音声多重放送の音声を切り換える (地上アナログ / 地上デジタル放送視聴時)

1. ▼下 ▲上 で [音声切替] を選択し、決定 を押します。
2. 加減 を押すたびに音声の種類が切り換わります。

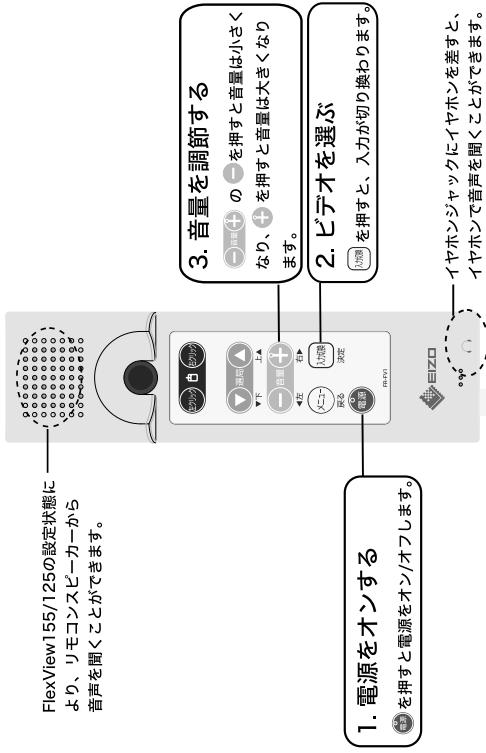
コンピュータを使う



リモコンをマウスとして利用できる場合は、各ボタンは次のように機能します。



ビデオを見る



?

こんなエラーが出たら...

PC 無信号
PC 信号エラー

コンピュータ画面表示中にこのメッセージが表示された場合、コンピュータの電源は入っているか、信号ケーブルは正しく接続されているか、確認してください。不明な点は、機器管理者にお尋ねください。

?

こんなエラーが出たら...

タイマーチェック

有料設定されている入力、またはチャンネル表示中にこのメッセージが表示された場合、カードの残数を確認してみてください。

アフターサービス

修理について

- 修理の際に当社の品質基準に適合した再生部品を使用することがありますのであらかじめご了承ください。
- 当社にて修理をおこなった場合、お客様による設定が変更、消失することがあります。あらかじめご了承ください。

修理を依頼されるとき

- 保証期間中の場合
保証規定に従い、エイゾーサポートにて修理をさせていただきます。お買い求めの販売店、またはエイゾーサポートにご連絡ください。
- 保証期間を過ぎている場合
お買い求めの販売店、またはエイゾーサポートにご相談ください。修理範囲（サービス内容）、修理費用の目安、修理期間、修理手続きなどを説明いたします。

当社では、この製品の補修用部品（製品の機能を維持するために必要な部品）を、製品の製造終了後、最低 8 年間保有しています。補修用部品の最低保有期間が経過した後も、故障箇所によっては修理可能な場合がありますので、エイゾーサポートにご相談ください。

修理を依頼される場合にお知らせいただきたい内容

- お名前・ご連絡先の住所・電話番号/FAX 番号
- お買い上げ年月日・販売店名
- モデル名・製造番号（製造番号は、インターフェースユニットの底面ラベル上に表示されている 8 けたの番号です。例) S/N 12345678)
- 使用環境
- 故障または異常の内容（できるだけ詳しく）

廃棄について

本製品を廃棄する場合は、産業廃棄物として処理してください。

個人でお使いの後、廃棄する場合は、販売店または EIZO コンタクトセンターにお問い合わせください。

特定化学物質の含有情報（含有マーク）

日本工業規格（JIS）C 0950:2005（通称 J-Moss）「電気・電子機器の特定の化学物質の含有表示方法」の基準値において、本機は特定化学物質の含有率が基準値を超えている製品（含有マーク製品）です。（該当化学物質は上記含有マーク横の化学記号物質です）。

本製品および当社製品の「特定化学物質の含有情報」については、当社のホームページをご参照ください。

(<http://www.eizo.co.jp>)



保証書

この保証書は所定事項を記入して効力を発するものですから、必ずお買い上げ年月日・販売店・住所・電話番号の記入をご確認ください。

保証 期間	お買い上げの日より 1 年間	モデル名 /製造番号	(記入または梱包箱側面に添付のラベルを貼付ください)

* インターフェースユニット単体の場合は、インターフェースユニットのみの保証となります。

お客様	フリガナ	ご住所 〒
	お名前	
	様	TEL ()
販売店	お買い上げ年月日 年 月 日	
	住所・店名・TEL・担当者	

保証規定

1. 本製品の取扱説明書、本体添付ラベルなどの注意書に従った使用状態で保証期間内に故障した場合、無料にて故障箇所の修理をさせていただきますので、保証書を添えてお買い上げの販売店またはエイゾーサポートまでお申しつけください。
2. 保証期間内でも次のような場合には、有償修理とさせていただきます。
 - 保証書のご提示がない場合
 - 保証書の所定事項が未記入、または字句が書き換えられている場合
 - 使用上の誤り、または不当な修理や改造による故障及び損傷
 - お買い上げの後の輸送・移動・落下などによる故障及び損傷
 - 火災・地震・水害・落雷・その他の天災地変ならびに公害や異常電圧などの外部要因に起因する故障及び損傷
 - 車両・船舶などに搭載された場合に生じる故障及び損傷
 - 電池の液漏れによる故障及び損傷
 - 液晶パネル、バックライトの経年劣化（輝度の変化、色の変化、輝度と色の均一性の変化、焼き付き、欠点の増加など）
 - 外装品（液晶パネルの表面を含む）の損傷、変色、劣化
 - 付属品（リモコン、ケーブル、B-CASカード、取扱説明書など）の交換
 - 当社指定の消耗品（電池、スイッチ/ボタン/レバー類、回転部など）
 - 技術革新などにより製品に互換性がなくなった場合
3. 保証書は日本国内においてのみ有効です。
This warranty is valid only in Japan.
4. 保証書は再発行いたしませんので紛失しないよう大切に保管してください。

* 保証書は、保証書に明示した期間、条件のもとにおいて無償修理をお約束するものです。なお、保証期間経過後の修理についてご不明な場合はお買い上げの販売店またはエイゾーサポートまでお問合せください。



環境保護のため、再生紙を使用しています。

株式会社ナナオ

〒924-8566 石川県白山市下柏野町153番地

<http://www.eizo.co.jp>

第4版 2009年3月 Printed in Japan.

00N0L374D1
(U.M-FV155)